

CHOFU

石油瞬間給湯器(直圧)
〔石油小形給湯機〕

エコフィール 取扱説明書 (保証書付)

型名

EHIF-4765DSN
EHI-4765DS
EHI-4765DF
EHI-4765DKF

停電時自立型

EHIF-4765DSN-2



ご使用前のお願い

- 本書にはリモコンの操作説明は記載されていません。
リモコンおよびバックアップ電源ユニットに付属している「取扱説明書」と併せてお読みください。

このたびは長府製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- この機器は、消費生活用製品安全法の『特定保守製品』に指定されています。
ご使用前に、『所有者票』(製品に添付)を返送していただき、所有者登録を行ってください。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

10167531 (DT)

取扱説明書をお読みになる前に

機器の型名・排気タイプ・機能タイプ・設置方式
および、ご自宅の混合水栓のタイプを確認してく
ださい。

□太枠内に英数字や✓(チェックマーク)を記入しておくと、今後お読みになるときに役立ちます。

型名・排気タイプ・機能タイプ・設置方式は？

●本書では必要な項目で機器の型名・排気タイプ・機能タイプ・設置方式を記載して説明してい
ます。

1 機器前パネルの銘板に表示している型名を確認してください。



2 確認した型名から以下の表で排気タイプ・機能タイプ・設置方式を確認してください。

型名: EHI - 4765D -

英字 (Fまたはなし) 英字 (1~2文字)

機能タイプ

2が入っていない	☐ 停電時自立型以外
2が入っている	☐ 停電時自立型

設置方式

Kが入っている	☐ 壁掛型
Kが入っていない	☐ 床置型

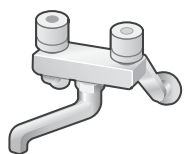
排気タイプ

Fが入っている	Fが入っている	左以外は排気筒の形状を確認する	
☐ 前面排気タイプ	☐ 強制給排気タイプ	☐ 強制排気タイプ	☐ 無煙突タイプ

混合水栓のタイプは？

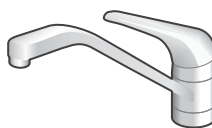
●本書では2ハンドル混合水栓で説明をしていますが、必要な項目では混合水栓のタイプを記載して操作方法を説明しています。ご自宅の混合水栓のタイプを確認してください。

2ハンドル混合水栓



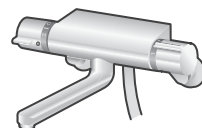
給湯栓(お湯)と給水栓(水)を回して温度を調節します。

シングルレバー混合水栓



レバーの位置を変えて温度を調節します。

サーモスタット付混合水栓



温度調節ハンドルで温度を調節します。

イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

取扱説明書をお読みになる前に

使ってみよう！



もっと節電したい…

※停電時自立型のみ

ピークシフト運転

▶ 21ページ

困ったときは？

地震や火災が起きた！

▶ 8ページ

停電した！
お湯を使う方法は？

※停電時自立型のみ

▶ 20ページ

凍結を予防したい

▶ 22～28ページ



お手入れは
どうしたらいいの？

▶ 29～31ページ

給湯器の動きが
いつもと違う

▶ 33～39ページ

リモコンにエラーコード
が出ている！

▶ 36～39ページ

も	く	じ	ページ
ご使用の前に	取扱説明書をお読みになる前に	2	
	特に注意していただきたいこと	6	
	各部の名称(外観図)	13	
	ご使用前の準備と確認		
	(燃料)	17	
	(給油)	17	
	〔油切れ予告装置(別売部品)について〕	17	
	(点火前の準備と確認)	18	
便利な使い方	停電時に給湯器を使う(バックアップ運転)	20	
	みんなで節電する		
	(ピークシフト運転)	21	
	(ピークシフト運転をするためには)	21	
必要なときに	冬期の凍結による破損防止について		
	(凍結予防)	22	
	(水抜き後の再使用のとき)	26	
	(凍結したとき)	28	
	長期間使用しない場合	28	
	日常の点検・手入れ(点検・手入れの必要事項、時期、方法)	29	
	定期点検	32	
	法定点検	32	
	故障かな?と思ったら		
	(修理を依頼する前に)	33	
	(安全装置)	35	
	(その他の装置)	35	
	(エラーコード)	36	
	部品交換について	40	
	仕 様	41	
	据付け	43	
	試運転	44	
	保証書	巻末	
	アフターサービス	裏表紙	

「リモコンの操作方法と機能設定」はリモコンに付属している取扱説明書で説明しています。

特に注意していただきたいこと

●本書では、人への危害や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を次のように分類して記載していますので、必ずお守りください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容です。	 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。		

警告

●排気筒・給排気筒はずれ危険

(屋内設置の場合)

(酸欠事故・火災・過熱の原因)

排気筒や給排気筒(管、ホース)がはずれたまま使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。



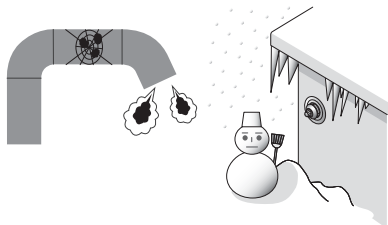
●排気筒・給排気筒閉そく危険

(屋内設置の場合)

(酸欠事故・火災・過熱の原因)

排気筒や給排気筒(管、ホース)がつまったり、ふさがれたまま使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

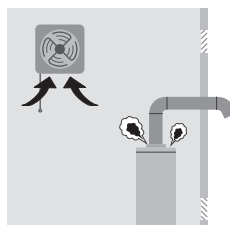
積雪の多い地方などでは、給排気筒トップの周りが雪やツララでふさがれたまま使用しないでください。ふさがれているときは除雪してください。



●換気扇の同時使用禁止

(強制排気タイプで屋内設置の場合)
2ページ

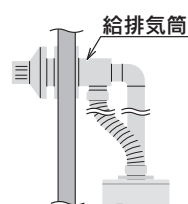
機器を設置した室内に換気扇が設置されている場合、燃焼中に換気扇を使用すると、排ガスが逆流して火災や事故の原因になります。換気口が設置されていてもリモコンの運転スイッチが「入」のときは、換気扇を使用しないでください。



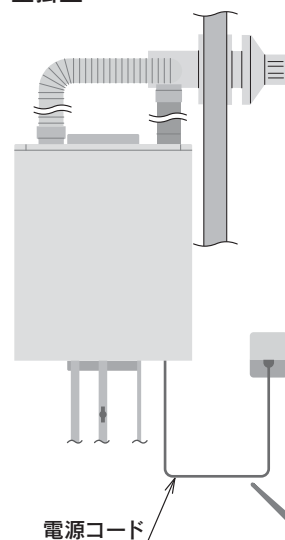
強制排気タイプ



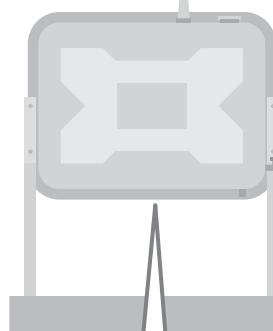
強制給排気タイプ



壁掛型



油タンク



●ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



●お守りいただく内容を、次の絵表示で説明しています。

	禁止 「してはいけない」内容です。		実行 「しなければならない」内容です。
---	----------------------	---	------------------------

	ガソリン厳禁		濡れ手禁止		分解禁止		接触禁止		一般的な警告・注意
	高温注意		感電注意		アースを接続する		電源プラグを抜く		

(WARNING)

高温注意

●シャワー使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変えない

使用者以外の人がお湯の温度を変えたり、リモコンの運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切換えたりすると、突然熱湯や冷水が出て、やけどや思わぬ事故の原因になります。



●入浴時やシャワー使用時は必ず手でお湯の温度を確かめる

(やけどのおそれ)

太陽熱温水器と接続している場合は、熱いお湯が出ることがありますので、特に注意してください。



●お湯を使用中は温度変化に注意する

以下の場合は一時的に熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

- ・お湯を止めた後に再使用するとき
- ・お湯の量を急に少なくしたとき
- ・他の場所で大量に水を使用したとき



●改造使用の禁止

(火災・感電・漏電などの思わぬ事故の原因)

絶対に改造して使用しないでください。

安全装置の無効化などは機器の安全性を損ないます。



●改造・分解禁止

(火災・感電・漏電などの思わぬ事故の原因)

絶対に改造や分解は行わないでください。

改造や分解は機器の安全性を損ないます。



●許容電力以上で使用しない

(停電時自立型の場合)

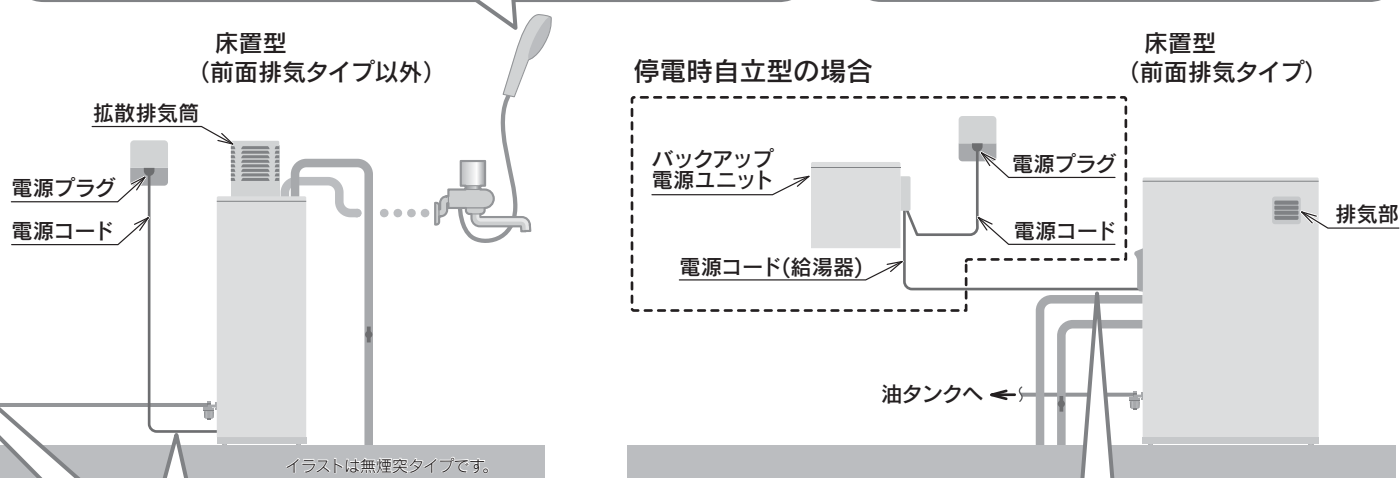
バックアップ電源ユニットのコンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、たこ足配線で定格を超えると発熱による火災の原因になります。



●太陽熱温水器と接続している場合の注意

必ずサーモスタット付混合水栓を使用して、お湯の温度を調節してください。

太陽熱温水器のお湯の温度がリモコンの給湯温度より高いときは、熱いお湯が出ることがあり、やけどのおそれがあります。



●電源コードは切断して延長しない

(火災・感電・発熱の原因)

電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。絶対に電源コードを切断して延長しないでください。



特に注意していただきたいこと



● ゴム製送油管の点検・交換をする (強制給排気タイプの場合 **2ページ**)



屋内に設置してゴム製送油管を使用している場合、ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があるときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂がなくても2～3年に一度は新しいものに交換することをおすすめします。交換しないと油漏れにつながり、火災の原因になります。

● バックアップ電源ユニットの点検口のふたは必ず閉じる (停電時自立型の場合)

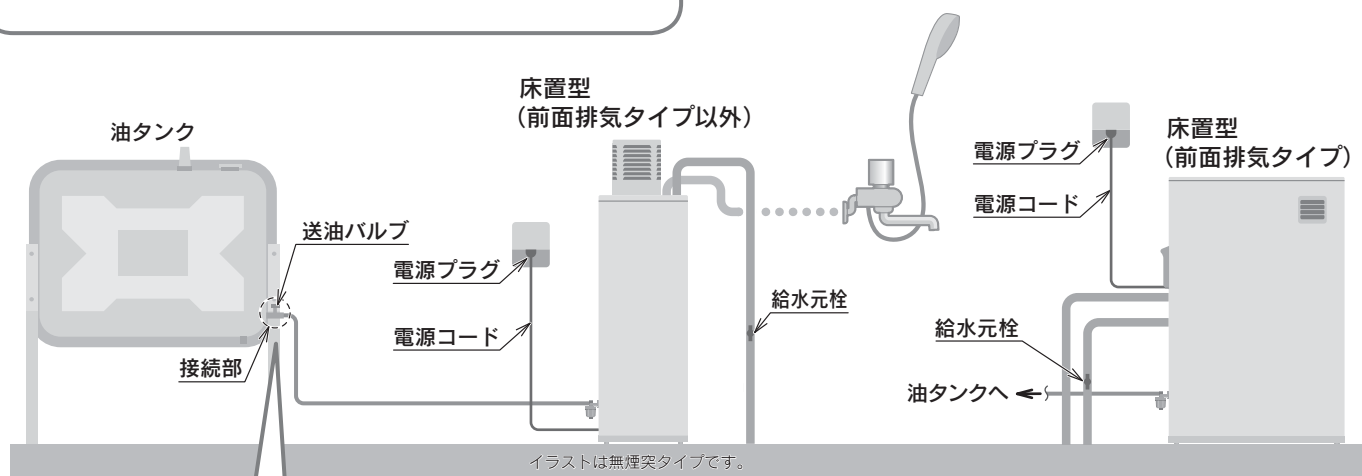


雨やゴミが入ると感電・ショート・漏電の原因になります。

地震や火災などの緊急時の 処置



1. すぐに使用を中止し、リモコンの運転スイッチを「切」にする
2. 送油バルブ・給水元栓を閉める
3. 電源プラグを抜く (停電時自立型以外の場合)
4. バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く (停電時自立型の場合)
5. 機器の損傷を確認し、お買い求めの販売店に連絡する



● 油漏れに注意する (火災の原因)

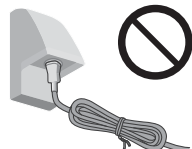


機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れがないことを確認してください。

● 電源コードを引張って 電源プラグを抜かない (火災や感電の原因)

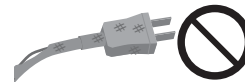


● 電源コードは束ねたまま 使用しない (火災や発熱の原因)



電源コード、電源プラグ、アースについて

● 傷んだ電源プラグや電源コード、 緩んだコンセントは使わない (火災や感電の原因)



● 電源コードに無理な力を加えない (火災や感電の原因)

- ・ 無理に曲げない
- ・ 引張らない
- ・ ものを載せない
- ・ 衝撃を与えない



● 傷つけたり、破損させたりしない (火災や感電の原因)



● 電源プラグを抜いて停止させない (火災や故障の原因) (停電時自立型以外の場合)

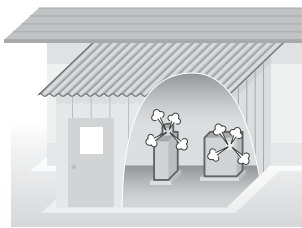


(CAUTION)

囲い禁止(屋外設置の場合)

(不完全燃焼や火災の原因)

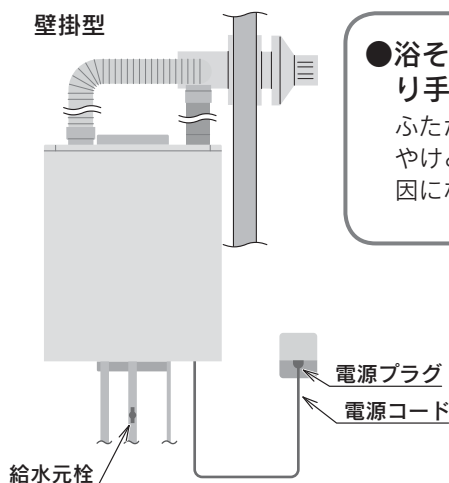
- 設置後、増改築などにより屋内状態にしない
- 機器や排気口などを波板やビニール、工事に使用した養生シートなどで囲わない
- 外壁工事などで機器全体が養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない



イラストは無煙突タイプと前面排気タイプです。



壁掛型



●浴そうのふたに乗ったり手をついたりしない

ふたがはずれておぼれたり、やけどなど思わぬ事故の原因になります。



使用上の注意

●給湯・シャワー以外には使用しない

(思わぬ事故の原因)



●機器内のお湯を排水するときはやけどに注意

機器内のお湯を排水するときはやけどに注意してください。熱湯が排水されることがあります。運転を停止し、機器が冷めてから排水してください。



●純正部品以外は使用しない

(事故や故障の原因)



●機器の設置・移動・取りはずしおよび付帯工事は、必ずお買い求めの販売店に依頼する

(火災・感電・事故の原因)



●長期間使用しないとき

(火災や思わぬ事故の原因)



「冬期の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。 **24・25ページ**

子どもに注意する

(思わぬ事故の原因)



- 子どもを浴室で遊ばせない
- 子どもだけで入浴させない
- 子どもを機器の周囲で遊ばせない



●電源プラグを濡れた手で触らない

(感電するおそれ)

雨が降っているときは電源プラグの抜き差しをしないでください。



●電源プラグは確実に差し込む

(火災・感電・発熱の原因)



●電源プラグのほこりは定期的にふきとる

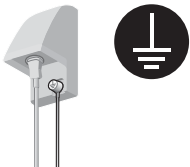
リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。ほこりを乾いた布でふきとってください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。



●アースを確認する

(感電するおそれ)

この機器はアースが必要です。アースが接続されてない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。



●家庭用以外の使用禁止

(思わぬ事故や故障の原因)

この機器は家庭用です。家庭用以外に使用すると保証の対象外になります。



特に注意していただきたいこと

⚠ 注意 (CAUTION)

異常・故障時使用禁止

(事故の原因)

1. 以下の場合はすぐに使用を中止する
 - ・ 点火しない、機器が使用中で消火した
 - ・ 使用中に異常な臭気・音・温度を感じた
 - ・ ススが出る
 - ・ 油が漏れている
2. 「故障かな?と思ったら」に従い処置を行う **33～39ページ**
3. 処置を行っても直らない場合は使用を中止し、お買い求めの販売店に連絡する



可燃物禁止

- 機器の上や周囲に燃えやすいものを置かない

(火災の原因)

新聞紙・灯油・木材・洗濯物などを置かないでください。

- 機器の上や周囲に引火性危険物を置いたり、使用したりしない

(爆発や火災の原因)

引火性危険物とは、ガソリン・ベンジン・スプレー缶・カセットこんろ用ボンベなどです。

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどは熱で缶の圧力が上がり、爆発するおそれがあります。



高温部接触禁止

- 燃焼中や消火直後は高温部(機器・排気筒・給排気筒・拡散排気筒・排気部)に手など触れない

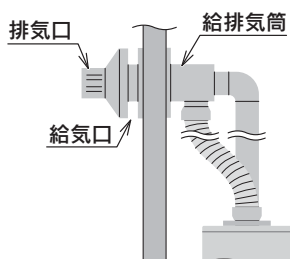
(やけどのおそれ)



強制排気タイプ



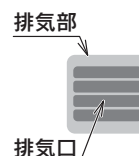
強制給排気タイプ



無煙突タイプ

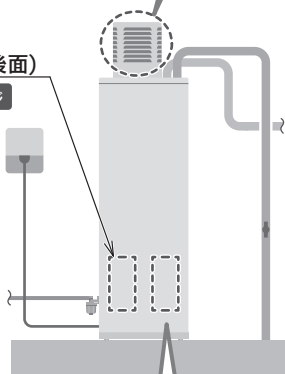


前面排気タイプ



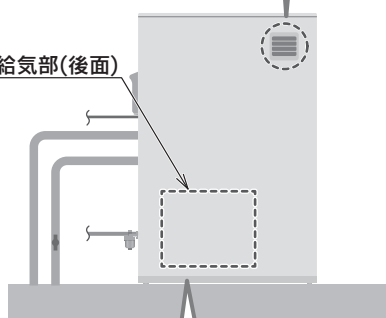
床置型
(前面排気タイプ以外)

給気部(後面)
13ページ

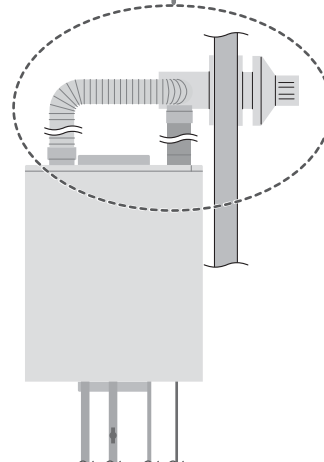


床置型
(前面排気タイプ)

給気部(後面)



壁掛型



- 給気部や排気口に指や棒を入れない

(けがや事故の原因)



お願い(NOTICE)

停電時の注意(停電時自立型以外の場合)

- 停電復帰後はリモコンの運転スイッチを「入」にする**
停電すると運転が停止します。停電復帰後はリモコンの運転スイッチを「入」にして使用してください。現在時刻を表示していない場合は、現在時刻の設定を行ってください。**リモコン取扱説明書参照**
- 冬期に停電したとき**
凍結により機器が破損するおそれがありますので、「冬期の凍結による破損防止について」の「じゃ口から水を流す方法」または「機器内の水を抜く方法」を参考にして凍結予防を行ってください。
ただし、「機器内の水を抜く方法」を行う場合は停電中のためリモコンの操作はできません。リモコン操作以外の処置を行ってください。**24・25ページ**

停電時の注意(停電時自立型の場合)

- 停電時に給湯器を使うときは、「停電時に給湯器を使う」に従う** **20ページ**
- 冬期に停電したとき**
凍結により機器が破損するおそれがありますので、給湯器の使用後はリモコンの運転スイッチを「切」にし、凍結予防の「冬期の凍結による破損防止について」の「じゃ口から水を流す方法」または「機器内の水を抜く方法」を参考にして凍結予防を行ってください。**23～25ページ**
(停電およびバックアップ運転時は凍結予防装置は作動しません。)

断水時の注意

- 断水したときは運転を停止し、給湯栓を閉める**
給湯栓を開けたままにしておくと、断水復帰後に水が流れ続けます。
- 断水復帰直後のお湯は飲用や調理に使用しない**
(健康を害するおそれ)
飲用や調理に適さない水が配管にとどまることがありますので、断水復帰後は給湯栓を開けて充分水を流してから使用してください。

使用上の注意

- 機器の近くに電気器具を置かない**
テレビの映像が乱れたり、ラジオに雑音が入ることがあります。
- エルボトップや給排気筒トップの下にものを置かない**
エルボトップや給排気筒トップから排ガス中の水分が結露して滴下することがあります。
下にものなどを置かないでください。



- 点検・整備のためのサービススペースを確保する**
前パネル側は必ず60cm以上あけてください。
工事説明書参照
- 高地で使用するときはご相談ください**
(燃焼不良の原因)
下記の高地で使用するときはお買い求めの販売店にご相談ください。

EHIF-4765DSN EHIF-4765DSN-2	標高1,000～1,500m 標高1,500mを超える場所では使用できません。
EHI-4765DS	標高1,000～1,300m 標高1,300mを超える場所では使用できません。
EHI-4765DF EHI-4765DKF	標高 800～1,300m 標高1,300mを超える場所では使用できません。

- 上水道を使用する**
地下水・井戸水・温泉水を使用すると、水質によっては故障することがあります。この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

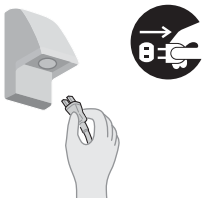
特に注意していただきたいこと

お願い(NOTICE)

雷発生時の注意(停電時自立型以外の場合)

- 雷が鳴りはじめたらリモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く

雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがあります。



- 雷がやんだ後は、電源プラグが濡れていないことを確認してコンセントに差し込む

(感電するおそれ)

濡れた手で電源プラグを触らないでください。



雷発生時の注意(停電時自立型の場合)

- 雷が鳴りはじめたらリモコンの運転スイッチとバックアップ電源ユニットの運転スイッチを「切」にし、バックアップ電源ユニットの電源プラグをコンセントから抜く

雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがあります。



- 雷がやんだ後は、バックアップ電源ユニットの電源プラグが濡れていないことを確認してコンセントに差し込み、バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「入」にする

(感電するおそれ)

濡れた手で電源プラグを触らないでください。



積雪時の注意

- 点検・除雪を行う

積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。

雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。



以下の場合取扱説明書に従って処置を行う

- リモコンにエラーコードが出たとき

36～39ページ

(火災や事故の原因)

処置を行わないで何度もリセットを繰り返さないでください。

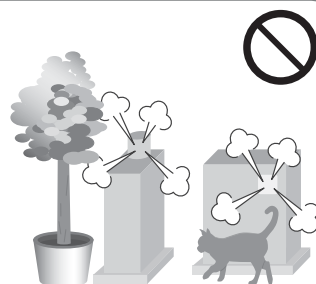
- 凍結のおそれがあるとき

22～25ページ

冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。凍結により機器が破損した場合の修理は保証期間内でも有料になります。

排ガスについて

- 植物やペットなど、排ガスによって悪影響を受けるものを周囲に置かない



- 排ガスを直接、建物の外壁・窓・ガラス・アルミサッシや塗装部分にあてない

(変色・破損・腐食の原因)

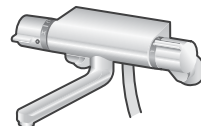
混合水栓について

- 通水抵抗が少ないもの、シャワーヘッドの圧力損失が少ないものを使用する

(出湯量が少なくなる可能性)

- 水圧が低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しない

- サーモスタット付混合水栓の使用を推奨
(やけど防止)



機器内のお湯(水)について

- 機器や配管に長時間たまった水や朝一番のお湯は、飲用や調理に使用しない

(健康を害するおそれ)

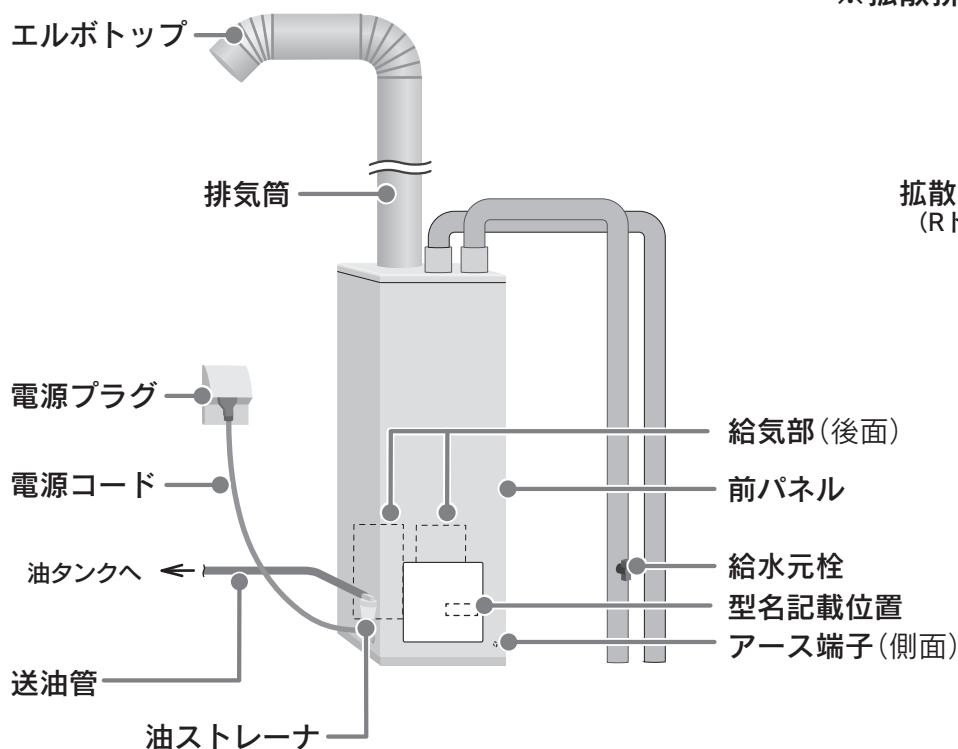
雑用水として使用してください。

各部の名称

外観図

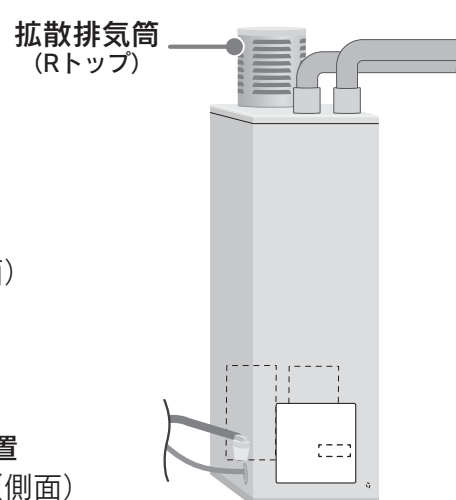
イラストはイメージです。

強制排気タイプ(屋内外設置) 2ページ 床置型※排気筒(エルボトップ)取付時

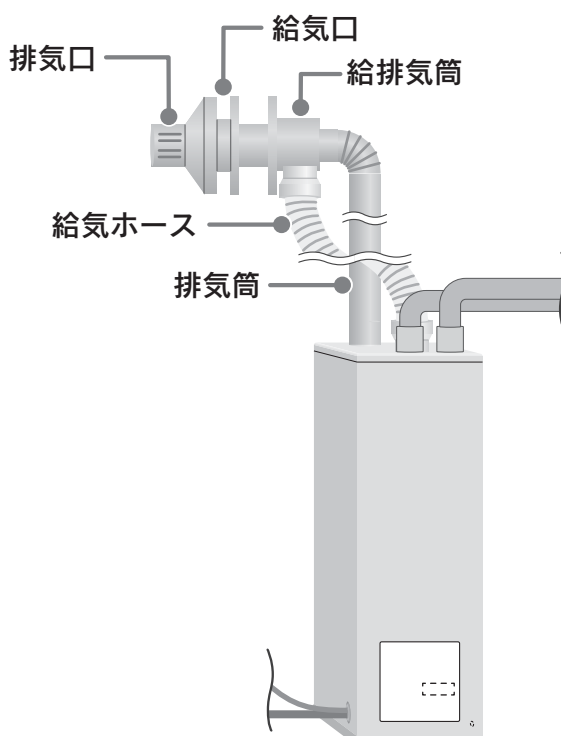


無煙突タイプ(屋外設置) 2ページ 床置型

※拡散排気筒(Rトップ)取付時



強制給排気タイプ(屋内設置) 2ページ 床置型※給排気筒取付時



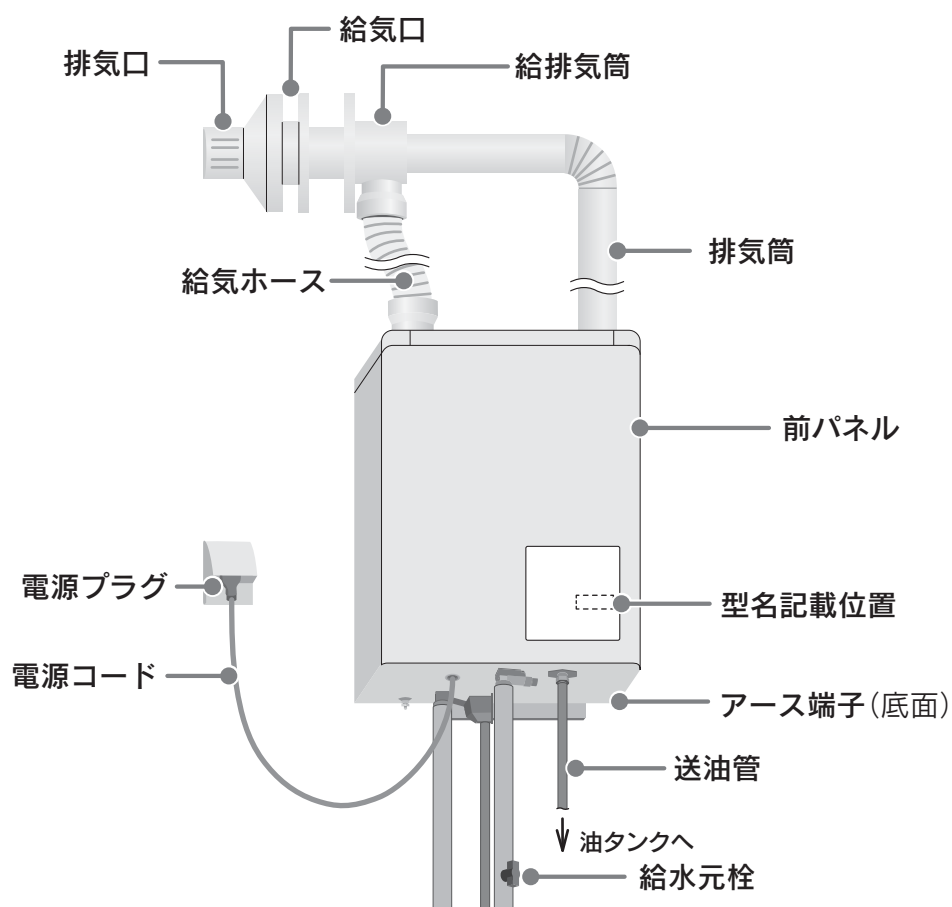
ご使用の前に

便利な使いかた

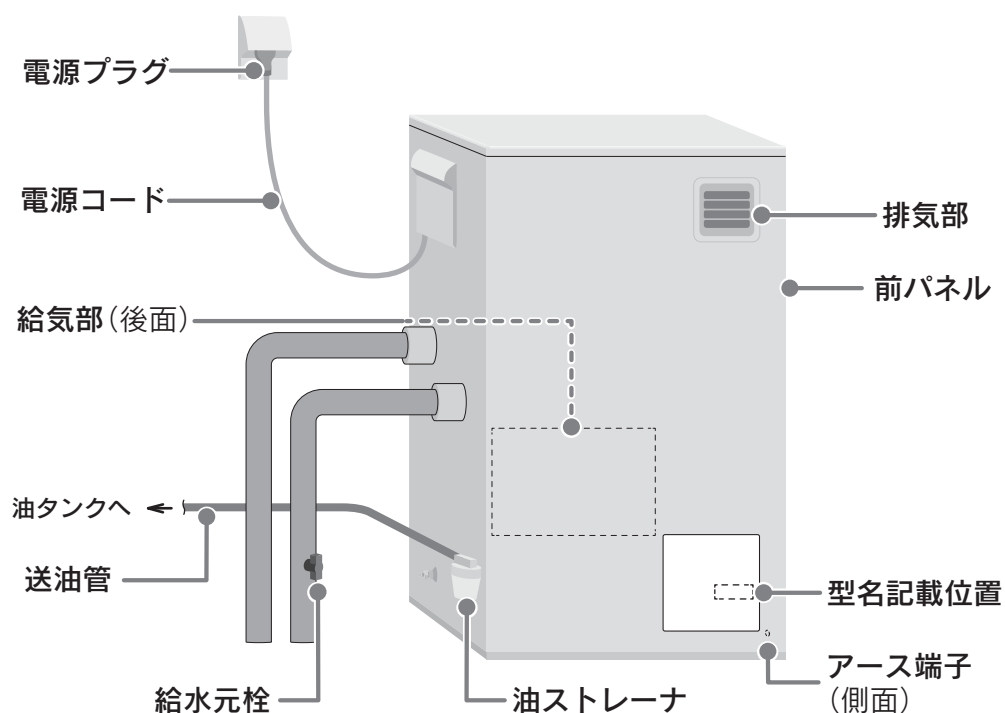
必要なときに

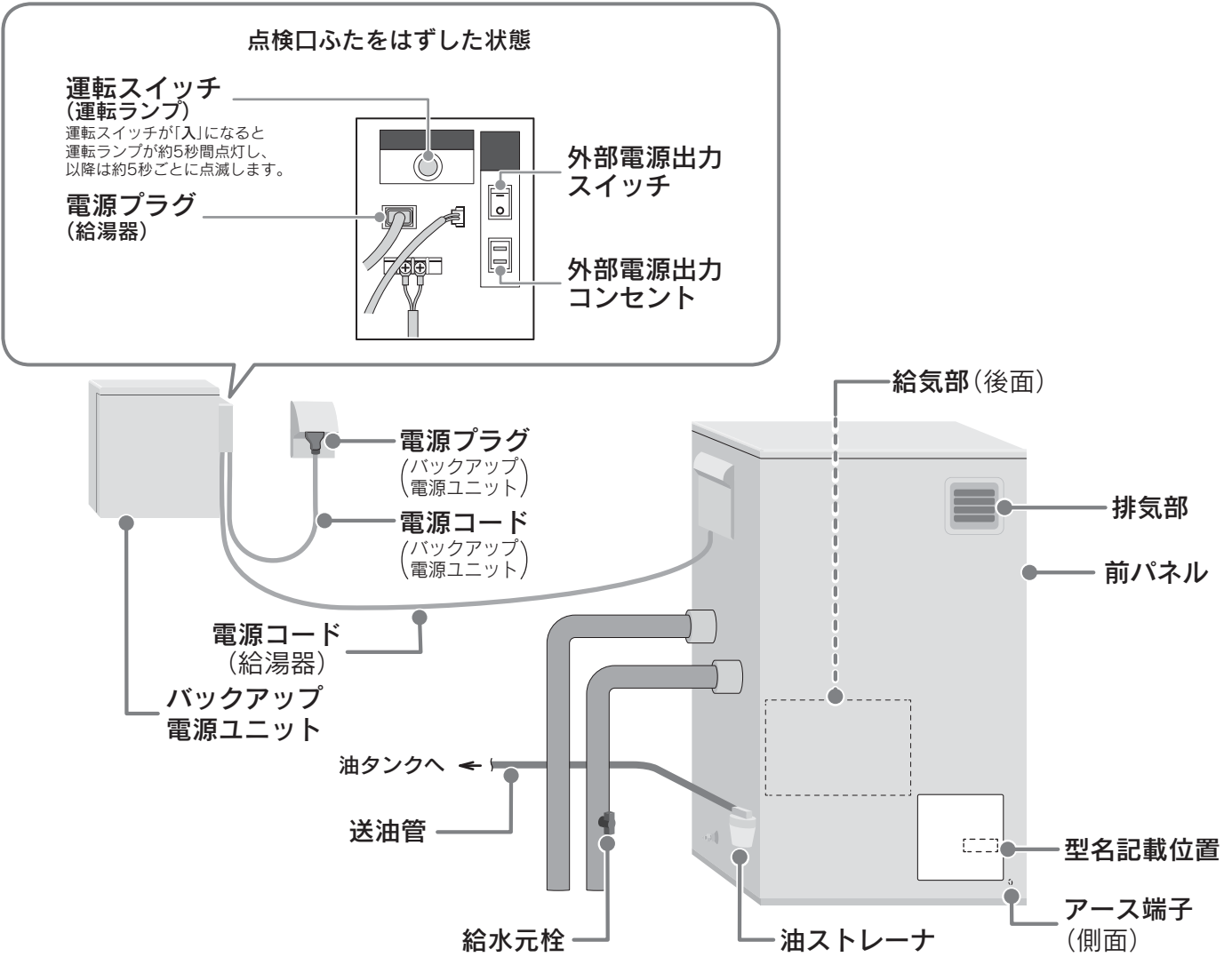
各部の名称

強制給排気タイプ(屋内設置) 2ページ 壁掛型



前面排気タイプ(屋外設置) 2ページ





バックアップ電源ユニット関連の表示(リモコンの表示画面)

●バックアップ電源ユニット関連以外の内容は、別売のリモコンセット付属の「取扱説明書」を参照してください。

表示画面

表示画面は説明のためのもので
実際とは異なります。

ユニット異常表示
バックアップ電源ユニットが故障
したときに点滅します。

バッテリー交換表示
バッテリーの交換時期になると点
滅します。

バッテリー充電中表示
バッテリー充電中に点滅します。

CH LC EE LS

バッテリー残量表示
使用できるバッテリーの残量
を6段階で表示します。
バックアップ運転中に表示し
ます。

バッテリー 残量表示	バッテリー 残 量
L5	多
L4	↑
L3	
L2	
L1	
点滅	少

使用の前に

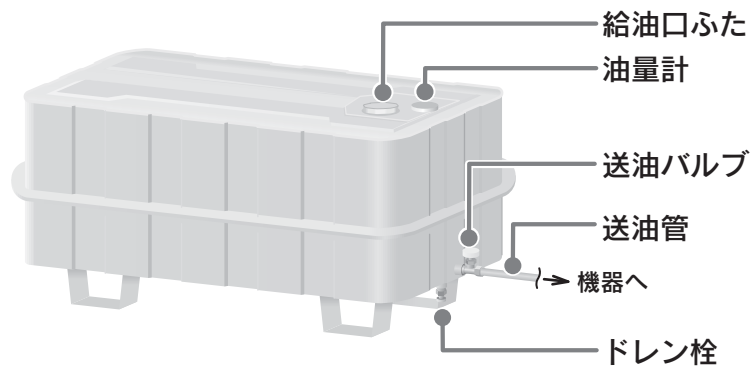
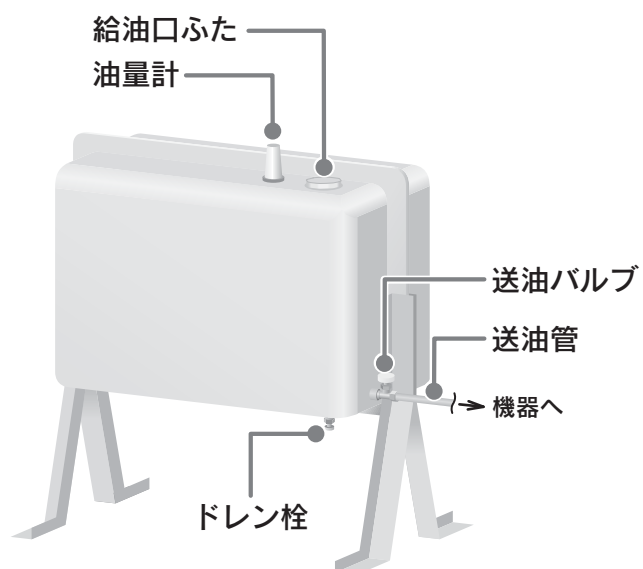
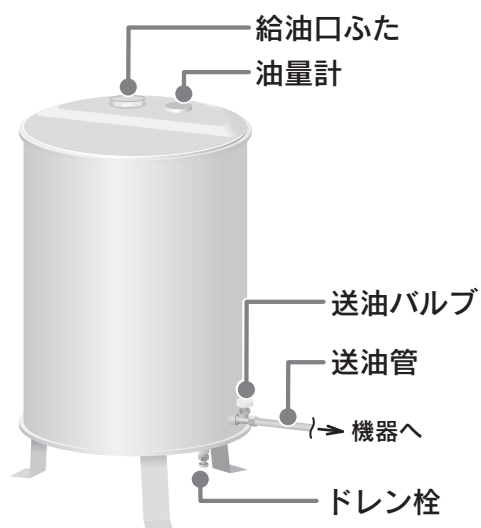
便利な使いかた

必要なときに

各部の名称

油タンク(別売部品)

- 別売の油タンクは3種類の形状があります。
(部品の位置は油タンクにより異なります。)



ご使用前の準備と確認

燃料

警告

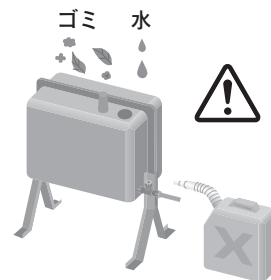
- ガソリン・ベンジン・シンナー・重油・軽油やその他のものが混入した灯油は火災や故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

- 燃料は必ず灯油(JIS1号灯油)を使用してください。

給油

給油の際の注意

- 必ずリモコンの運転スイッチを「切」にしてから行ってください。
- 水やゴミなどが入らないように特に注意してください。
- 給油後は給油口ふたを確実に閉め、灯油がこぼれたときはふきとってください。



燃料切れに注意

注意

- 頻繁に燃料切れを起こしリセットを繰り返すと、バーナーの性能低下によりススが出て、建物の壁などを汚すおそれがあります。

- 燃料切れを起こさないように、こまめに油タンクの油量計を確認して早めの給油を心がけてください。

燃料切れをしたときは

給油してください。すぐに給油ができないときは、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

- リモコンに「111」または「121」のエラーコードを表示します。 **36～38ページ**

給油後にリセットすると、送油経路の空気が抜けて燃焼を再開します。

(送油経路の空気が抜けるまでは振動音が出たり、リモコンに「111」または「121」のエラーコードを表示して停止したりしますが故障ではありません。連続燃焼するまでリセット操作を行ってください。)

■リセットの方法

リモコンの運転スイッチを「切」にしてから再度「入」にします。

2、3回リセットしても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

約8回リセットを繰り返すと、お客様によるリセットができなくなりますので注意してください。

油切れ予告装置(別売部品)について

- 油切れ予告装置を取付けると台所リモコンで給油の時期を確認することができます。
- 油切れ予告装置は「OC-5」と「OC-31」の2種類あります。

OC-5を取付けたとき

- 台所リモコンに油面計を表示させ、油タンク内の灯油の残量を5段階で表示します。
- 油面計の1段目が点滅すると、リモコンにエラーコード「830」を表示してお知らせします。
「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。
- 設定は油切れ予告装置に付属の説明書をご覧ください。

例 音声リモコン



OC-31を取付けたとき

- 灯油の残量が少なくなると、リモコンにエラーコード「830」を表示してお知らせします。(OC-31は油面計を表示しません。)
「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。

ご使用前の準備と確認

点火前の準備と確認

1 機器および周辺の確認をする

機器本体・排気筒・給排気筒・拡散排気筒・排気部・油タンクの上や周囲に燃えやすいものや引火性危険物、また排ガスによって悪影響を受けるものを置かないでください。**10・12ページ**

給気口・排気口・給気部がふさがれていないことを確認してください。**13～15ページ**



イラストは床置型の無煙突タイプと前面排気タイプです。

2 給水元栓を開ける

機器や接続部から水漏れしていないことを確認してください。

3 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉める

4 油タンクの送油バルブを開ける

油タンクや送油管の接続部などから油漏れがないことを確認してください。

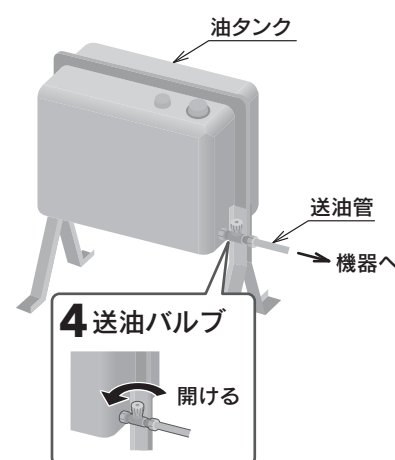
5 電源プラグを差し込む(停電時自立型以外の場合)

この機器はAC100Vです。

6 電源の確認をする(停電時自立型の場合)

この機器はAC100Vです。

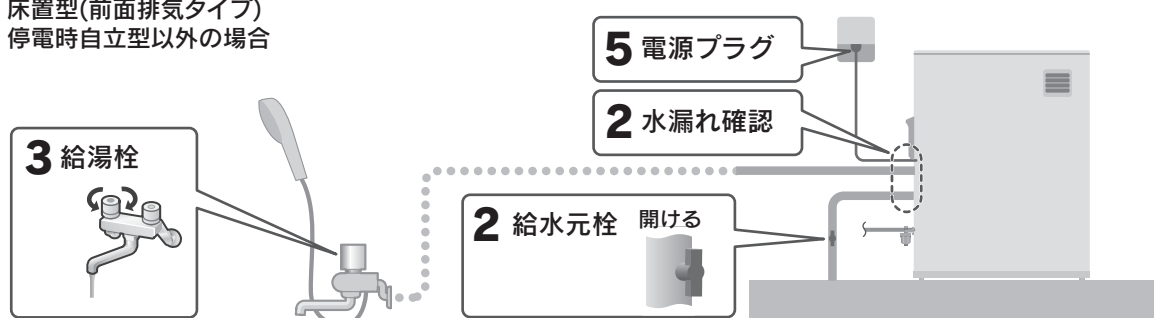
- 屋内のブレーカが「入」になっている。
 - バックアップ電源ユニットの電源プラグがコンセントに差し込まれている。
 - 給湯器の電源プラグがバックアップ電源ユニットの給湯器電源出力コンセントに差し込まれている。
 - バックアップ電源ユニットの運転スイッチが「入」になっている。
- ※運転スイッチが「入」になると運転ランプが約5秒間点灯し、以降は約5秒ごとに点滅します。



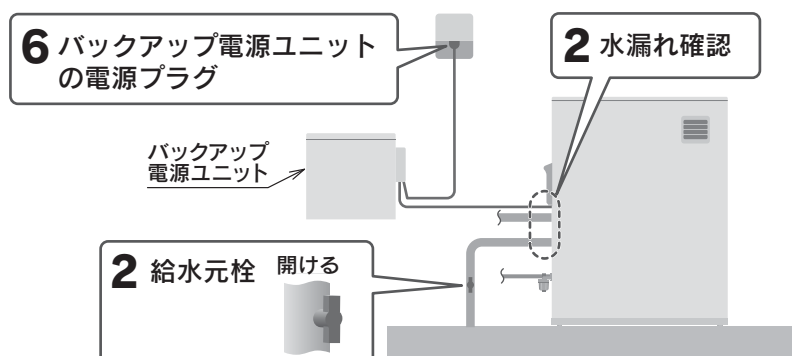
7 排気筒(屋内設置の場合)・拡散排気筒・給排気筒の確認をする

排気筒・拡散排気筒・給排気筒の接続部に緩みやはずれがないこと、またススがついていないことを確認してください。緩んでいたり、ススがついていたりするときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

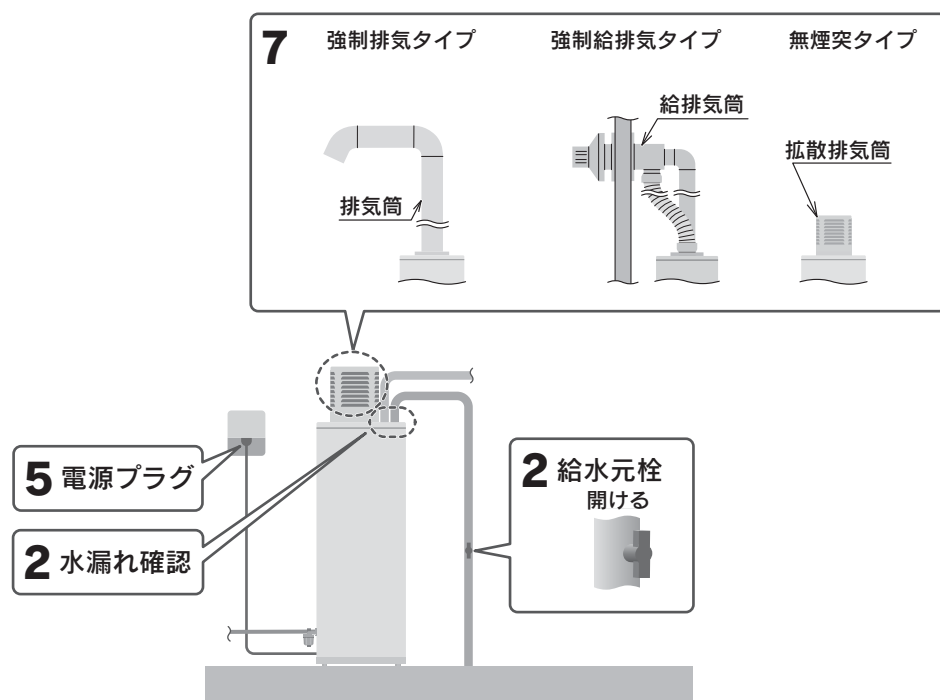
床置型(前面排気タイプ)
停電時自立型以外の場合



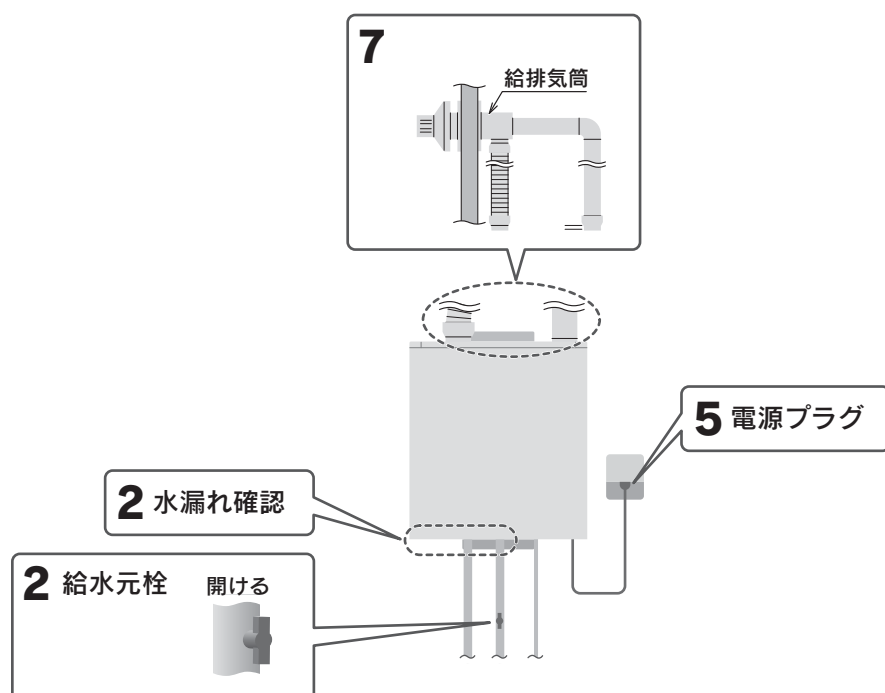
床置型(前面排気タイプ)
停電時自立型の場合



床置型(前面排気タイプ以外)



壁掛型



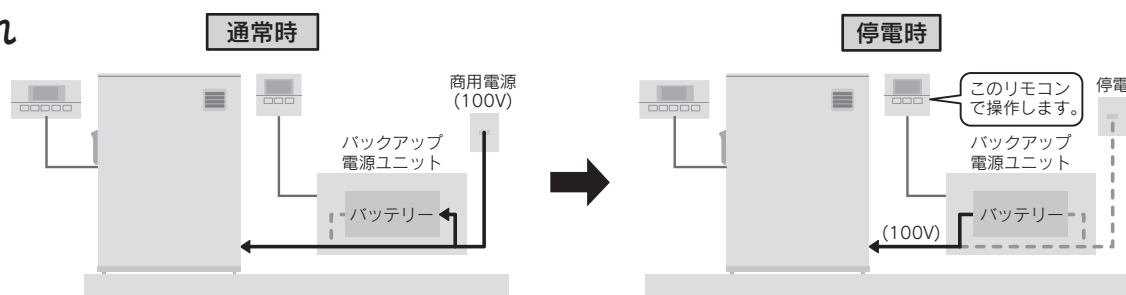
停電時に給湯器を使う

※停電時自立型のみ 2ページ

バックアップ運転

停電が発生したときにバックアップ電源ユニットからの電源に切換えて、お湯を使用することができます。

電気の流れ



※イラストは、別売の防水形増設リモコン(YST-2706V)を接続している場合です。

- 約10秒間以上停電すると、リモコンの運転スイッチが「切」になり給湯器が停止します。
1分以上経過した後、バックアップ電源ユニットに接続しているリモコンで以下の操作を行ってください。

※操作説明はバックアップ電源ユニットに
台所リモコンを接続している場合です。



1

運転入/切を押して「入」にする

- 運転スイッチが「入」になると運転ランプが点灯します。

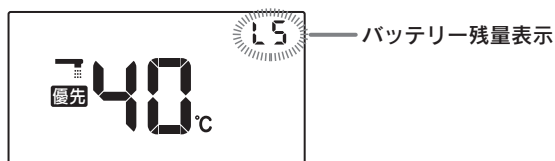


約20秒間経過

リモコンの表示画面が点灯してお湯が使用できます。

- バックアップ運転中はリモコンにバッテリー残量を表示します。

15ページ



バッテリー残量表示

バックアップ運転中は…

- 表示画面は暗く点灯します。(変更できません。)
- 「eco機能」・「ピークシフト運転」は使用できません。

- バックアップ電源ユニットの電力消費を抑えるため、以下の場合は自動的にバックアップ運転を停止し、リモコンの表示画面が消灯します。

- ・ 運転スイッチが「入」のとき、お湯を使用しない状態が約10分間続いたとき
- ・ 運転スイッチを「切」にした後、約1分以内

- 再度使用するときは1の操作を行ってください。

停電復帰

自動的に商用電源に切りかわり、通常通り使用できます。

お知らせ

- バックアップ運転時は凍結予防装置は作動しません。
- 停電時に凍結のおそれがあるときは、お湯を使用した後リモコンの運転スイッチを「切」にして、「冬の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」の処置を行ってください。 24・25ページ

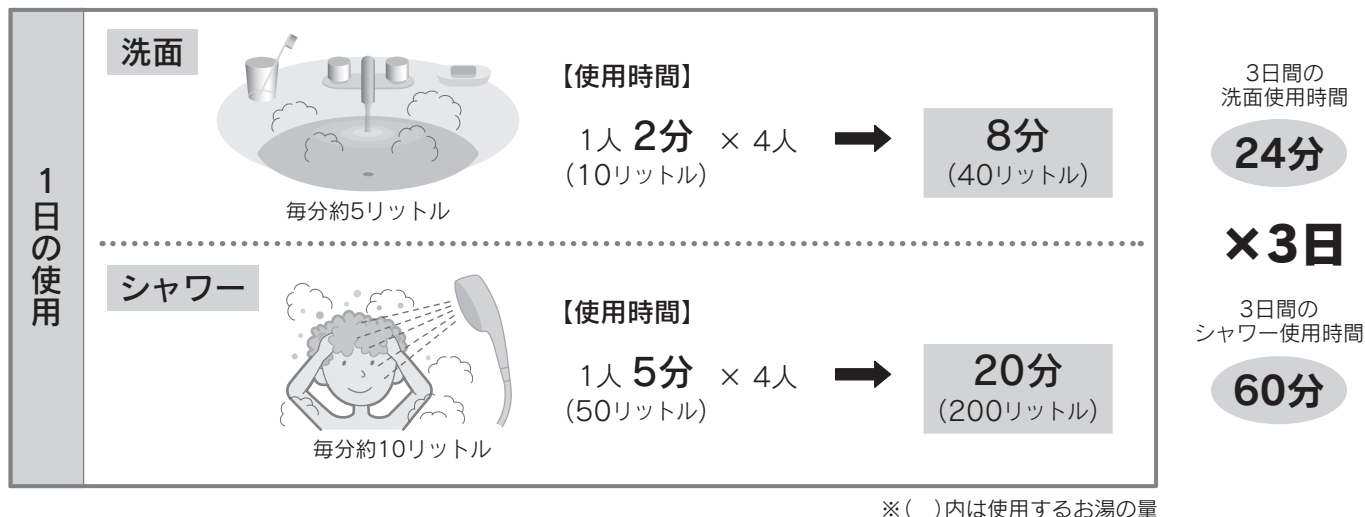
以下の内容はバックアップ電源ユニット付属の取扱説明書を参照してください。

- 使用開始前の準備と操作方法
- 運転停止
- 外部電源出力の方法
- 停電時の動作
- エラーコード

バックアップ運転でお湯が使える時間のめやす

- バックアップ運転でお湯が使える時間のめやすは、3日間の合計で洗面に24分とシャワーが60分使用できます。
※洗面に毎分5リットル、シャワーに毎分10リットルのお湯を使用した場合
- 他の電気器具を使用した場合は、お湯が使える時間(使用できるお湯の量)が少なくなります。

4人家族の場合の使用例



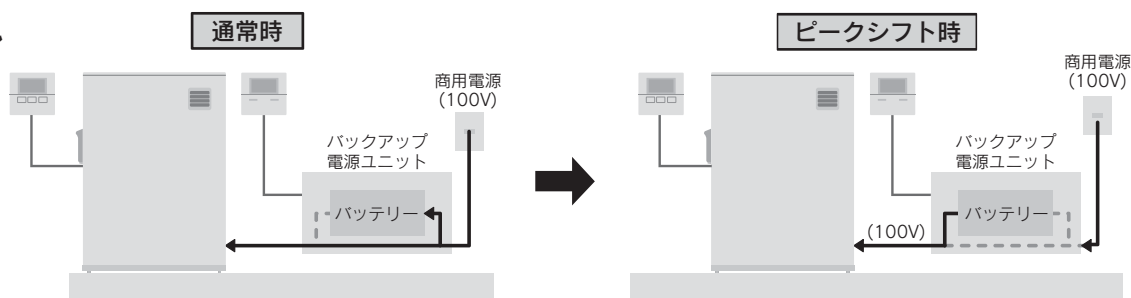
みんなで節電する

※停電時自立型のみ **2ページ**

ピークシフト運転

お客様が設定した時間帯にバックアップ電源ユニット(バッテリー)の電力を優先的に使用して、給湯器を動かすことができます。夏の昼間など電力使用量が多い時間帯の使用量を抑え、電力負荷の集中を緩和することができます。ピークシフト運転を行うためには、別売の増設リモコン(CMR-2501SV)が必要です。

電気の流れ



※イラストは、別売の増設リモコン(CMR-2501SV)を接続している場合です。

- ピークシフト運転中の機能制限はありませんので、給湯器は通常通り使用できます。
- ピークシフト運転中でも、リモコンの運転スイッチが「切」のときやバッテリー残量が少なくなったときは、商用電源に切り替わります。
- ピークシフト運転中に停電を検知すると、バックアップ運転に切り替わります。 **20ページ**

ピークシフト運転をするためには

- 別売の増設リモコン(CMR-2501SV)付属の取扱説明書に従って、「ピークシフト時刻の設定」と「ピークシフト運転の設定」を行ってください。

冬期の凍結による破損防止について

- 冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。
(凍結により機器が破損した場合の修理は、保証期間内でも有料になります。)
- 停電時自立型の場合バックアップ運転時は、凍結予防装置は作動しません。
凍結のおそれがあるときは、使用後に「**機器内の水を抜く方法**」を行ってください。

凍結予防

凍結予防には「**凍結予防装置による方法**」、「**じゃ口から水を流す方法**」、「**機器内の水を抜く方法**」があります。

凍結予防装置による方法(自動)

外気温が下がると自動的に凍結予防ヒータに通電し、機器内の給水経路を保温します。

停電時自立型以外の場合

1 電源プラグが差し込まれていることを確認する

停電時自立型の場合

1 バックアップ電源ユニットと給湯器の電源プラグが差し込まれていることを確認する

2 バックアップ電源ユニットの運転スイッチが「入」になっていることを確認する

※運転スイッチが「入」になると運転ランプが約5秒間点灯し、以降は5秒ごとに点滅します。

お知らせ

- 配管やバルブなどの凍結予防はできませんので十分に保温してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカを「切」にしたりすると凍結予防装置が作動しませんので、注意してください。
- リモコンの運転スイッチの「入・切」に関係なく作動します。
- 停電の場合は凍結予防装置は作動しません。停電するおそれがある場合は、「**じゃ口から水を流す方法**」か「**機器内の水を抜く方法**」を行ってください。

じゃ口から水を流す方法

冷え込みが厳しく風が強いときは、「凍結予防装置による方法」に加えてじゃ口から少量の水を流して給水・給湯配管やバルブなどの凍結を予防します。

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする ※運転スイッチが「入」のとき

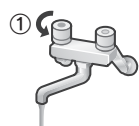
2 給湯栓を開ける

じゃ口から毎分約400cc(約4mm)の水を流したままにします。



●2ハンドル混合水栓

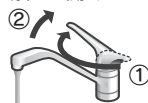
①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいに戻す

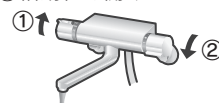
②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

3 約30分後に水の量を確認する

流量が不安定なことがあるため確認を行います。

お知らせ

- 水を流す混合水栓は屋内の1箇所でもかまいません。おふろの混合水栓から浴そう内に流せば、たまった水を洗濯などの雑用水として使用できますのでムダになりません。浴そうにじゃ口が届かない場合は、じゃ口で流量を確認した後、シャワーに切換えて浴そう内に流してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカーを「切」にしたりすると凍結予防装置が作動しますので、注意してください。(停電時自立型以外の場合)

冬の凍結による破損防止について

機器内の水を抜く方法(冬期に長期間使用しないとき)

長期間使用しないときや電源プラグを抜くときは、この方法で行ってください。
この方法では配管やバルブなどの凍結予防はできませんが、機器には最も適した方法です。



警告

●機器内のお湯を排水するときは運転を停止し、機器が冷めてから排水してください。熱湯が排水されることがありますのでやけどに注意してください。

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする

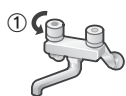
2 2分以上経過してから、電源プラグを抜く (停電時自立型以外の場合)

3 2分以上経過してから、バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「切」にしバックアップ電源ユニットの電源プラグを抜く (停電時自立型の場合)

4 給水元栓を閉める

5 すべての給湯栓(シャワーなどを含む)を開ける

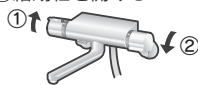
●2ハンドル混合水栓
①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓
①湯側いっぱいに戻す
②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓
①最高温度にする
②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。
水栓メーカーにより形状が異なります。

6 熱交排水栓・中和器排水栓・凝縮水回路排水栓をゆるめる

7 水フィルタ・エアチャージ栓・過圧逃し弁をはずす

水抜き終了後、水フィルタ・エアチャージ栓・過圧逃し弁は、次にお使いになるまではずしたままに、熱交排水栓・中和器排水栓・凝縮水回路排水栓は、次にお使いになるまでゆるめたままにしてください。

(はずした水フィルタなどは、なくさないように注意してください。また、水フィルタのフィルタを变形させたり、水フィルタ・エアチャージ栓・過圧逃し弁・熱交排水栓・中和器排水栓・凝縮水回路排水栓のOリングやゴムパッキンを傷つけないように注意してください。)

床置型(前面排気タイプ以外)

過圧逃し弁

7 はずす



エアチャージ栓

7 はずす



熱交排水栓

6 ゆるめる



給水元栓

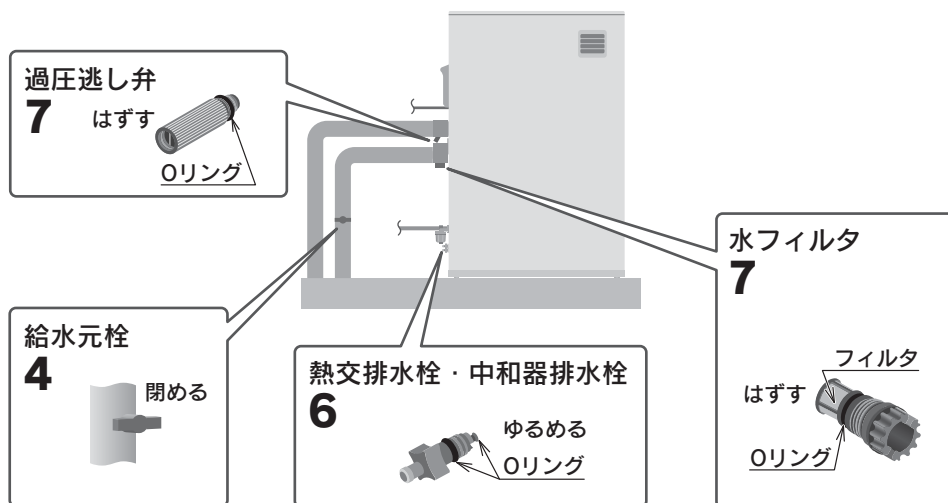
4

閉める

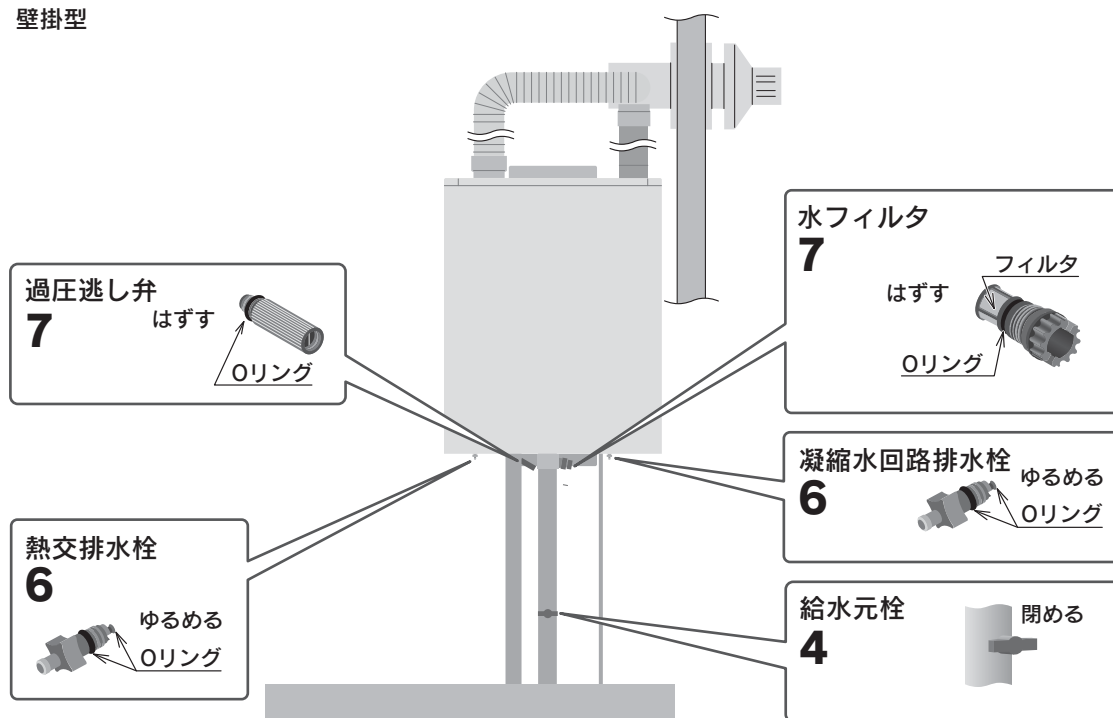


イラストは無煙突タイプです。

床置型(前面排気タイプ)



壁掛型



お知らせ

- 再使用するときは「水抜き後の再使用のとき」に従ってください。26・27ページ
- 5で開けた給湯栓は、再使用するときまで開けたままにしてください。
- 停電時自立型の場合でバックアップ電源ユニットの点検口をはずしたときは、作業終了後取付ねじがしっかり締まっていることを確認してください。

冬の凍結による破損防止について

水抜き後の再使用のとき

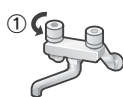
1 水フィルタ・エアチャージ栓・過圧逃し弁を取付け、熱交排水栓・中和器排水栓・凝縮水回路排水栓を締め込む

2 給水元栓を開ける

3 すべての給湯栓(シャワーなどを含む)を開ける

●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっばいに回す

②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

4 電源プラグを差し込む
(停電時自立型以外の場合)



5 バックアップ電源ユニットの電源プラグをコンセントに差し込み、バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「入」にする
(停電時自立型の場合)

6 「点火前の準備と確認」(18ページ)とリモコンに付属している取扱説明書に従って使用する

床置型(前面排気タイプ以外)

過圧逃し弁

1 取付ける



エアチャージ栓

1 取付ける



熱交排水栓

1 締め込む



中和器排水栓

1 締め込む



給水元栓

2 開ける

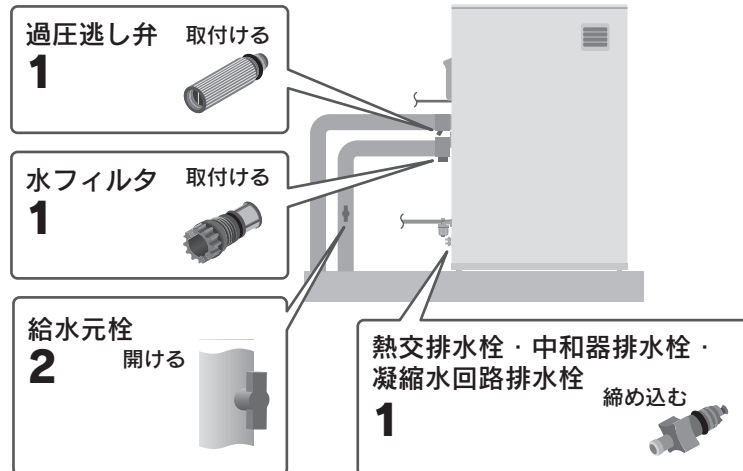


イラストは無煙突タイプです。

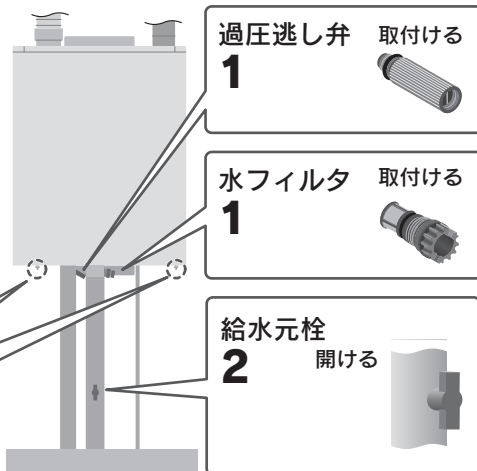
お知らせ

- 凍結した状態でリモコンの運転スイッチを「入」にするとエラーコード「651」「661」を表示することがあります。36～38ページ
- 停電時自立型の場合でバックアップ電源ユニットの点検口をはずしたときは、作業終了後取付ねじがしっかり締まっていることを確認してください。

床置型(前面排気タイプ)



壁掛型



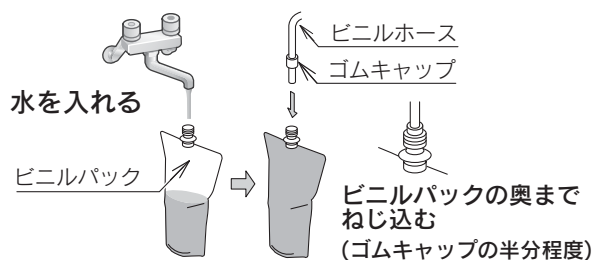
中和器への呼び水 (EHI-4765DFのみ)

⚠ 注意

- この作業は、室内への排ガス漏れを防ぐために重要です。機器内の水を抜いたときは、必ず運転前に行ってください。
- 呼び水をせずに機器を運転すると、警報になり運転することができません。

1 ビニルパックに水を入れる

機器に付属のビニルパック、ビニルホース(ゴムキャップ付)を用意します。
ビニルパックが満杯になるまで水を入れてください。
ビニルホース(ゴムキャップ付)のゴムキャップを水が漏れないように奥まで(ゴムキャップの半分程度)ねじ込んでください。



2 ビニルホースを機器に接続する

機器右側面の中和器呼び水口(排水栓)を反時計回りで開けて、ビニルホース(ゴムキャップの反対側)を差し込んでください。

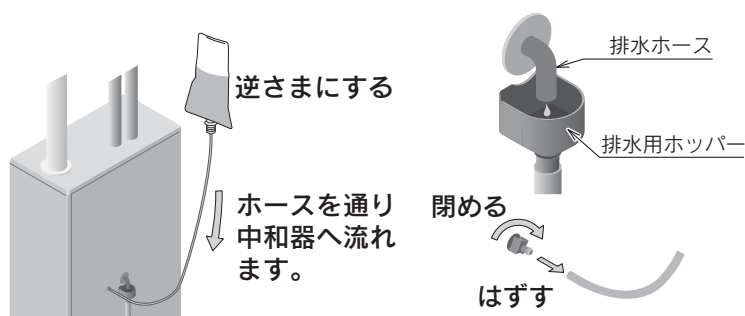
3 呼び水をする

ビニルパックを機器の上まで持ち上げて逆さまにしてください。中和器呼び水口(排水栓)から中和器へ呼び水が行われます。



4 呼び水完了

ビニルパックの水がなくなったら終了です。
(水の量が多いと、排水ホースから水が出る場合がありますが異常ではありません。)中和器呼び水口(排水栓)を元通りに閉めて、ビニルホースをはずしてください。
使用したビニルパックとビニルホースはなくさないように保管してください。機器内に保管しないでください。



冬の凍結による破損防止について

凍結したとき

給湯栓を開けてもお湯も水も出ません。自然解凍するまでお待ちください。
解けて水が出るまでは、以下の手順に従ってください。

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする

※運転スイッチが「入」のとき

2 ときどき、給湯元栓を開けてから 混合水栓の給湯栓を開ける

〈じゃ口から水が出ない場合〉

まだ凍結しています。給湯栓を閉め、時間をおいて再度**2**を行ってください。

〈じゃ口から水が出た場合〉

給湯栓を閉めて**3**を行ってください。

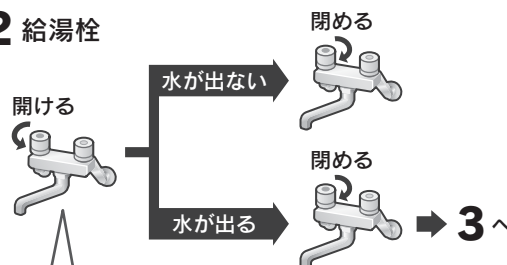
3 すべての給水栓・給湯栓を閉め、水道メーターが回っていないことを確認する

給水・給湯配管が凍結すると、配管・給水元栓・給湯栓が破損することがあります。

水道メーターが回っている場合は水漏れの可能性がありますので、お買い求めの販売店にご連絡ください。

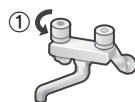
4 「点火前の準備と確認」(18ページ)とリモコンに付属している取扱説明書に従って使用する

2 給湯栓



●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいに戻す

②給湯栓を開ける



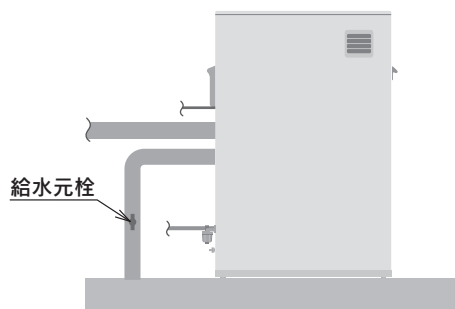
●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。



イラストは床置型/前面排気タイプです。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は「冬の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行ってください。24・25ページ

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

⚠ 注意

- 運転音の確認以外は必ず運転を停止し、機器が冷めてから電源プラグを抜いて行ってください。
停電時自立型の場合は、バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「切」にして電源プラグを抜いて行ってください。
- 金属部に充分注意してください。けがの原因になることがあります。
- 手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

点検・手入れの必要事項、時期、方法

毎日

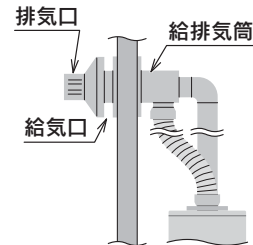
排気筒・給排気筒・拡散排気筒の接続部の緩み、外観

排気筒・給排気筒の接続部分や拡散排気筒に緩みがないこと、また排気口にススがついていないことを確認してください。緩んでいたたり、ススがついていたりするときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

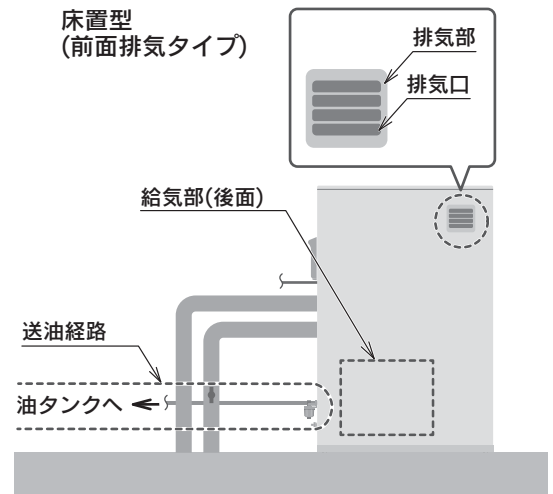
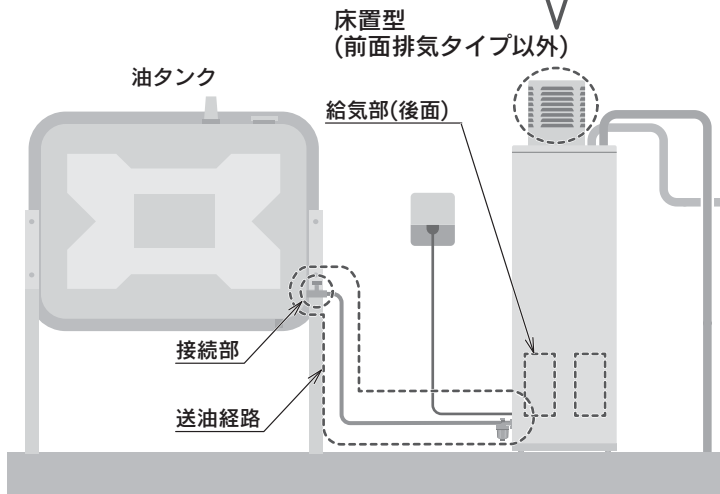
強制排気タイプ



強制給排気タイプ

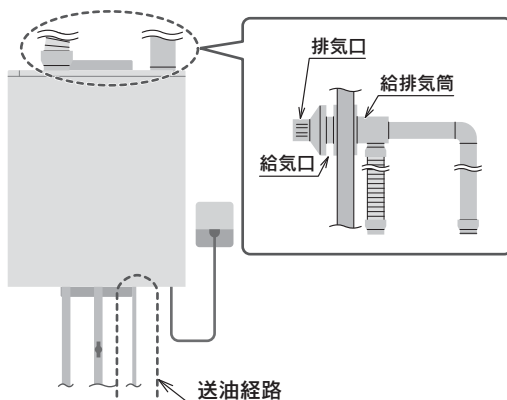


無煙突タイプ



イラストは無煙突タイプです。

壁掛型



油漏れ、油のたまり、油のにじみ

機器や油タンクの送油経路、特に接続部などから油漏れ、油のたまり、油のにじみがないことを確認してください。

機器外観

給気口・排気口・給気部

ゴミやほこりでふさがれていないことを確認してください。

外装

部分的に変色していないこと、また錆びて穴が開いていないことなどを確認してください。

日常の点検・手入れ

毎日

周囲の可燃物

機器・排気部・排気筒・拡散排気筒・給排気筒・油タンクの周囲に引火性危険物や燃えやすいものがないことを確認してください。

運転音

運転中に機器から異常な音がしていないことを確認してください。

適時に

積雪時の注意

積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。
雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。



リモコン

水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。
ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷の原因になります。また、塩素系カビ洗浄剤や酸性浴室用洗剤は使用しないでください。変色などの原因になります。

水漏れ

機器や配管などから水漏れしていないことを確認してください。

水フィルタの掃除 (EH1-4765DF・EH1-4765DSは、お買い求めの販売店に依頼してください。)

水フィルタにゴミがたまるとお湯が出にくくなりますので、定期的に掃除をしてください。

1 給水元栓を閉める

2 屋内の給湯栓を1箇所開ける

3 水フィルタをゆっくりはずし、掃除する

※水フィルタはエアチャージ栓を兼ねています。

水フィルタをはずしたときに配管内に残っている水が出ますが、異常ではありません。
掃除は歯ブラシなどを使用してください。
フィルタを変形させたり、Oリングやゴムパッキンに傷をつけないように注意してください。
水フィルタが固くて回らないときは、コインなどをエアチャージ栓・水フィルタの溝にさし込んで回してください

4 水フィルタを元通りに取付ける

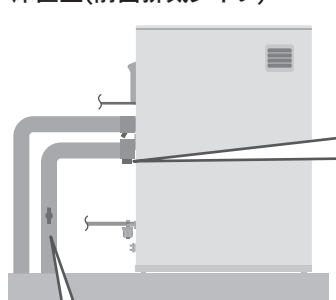
5 給水元栓を開ける

6 給湯栓から水が連続的に出てきたら、給湯栓を閉める

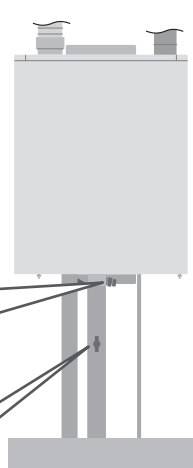
はじめは空気混じりの水が出ます。

7 水フィルタから水漏れがないことを確認する

床置型(前面排気タイプ)



壁掛型



水フィルタ

3 はずす

4 取付ける

7

フィルタ

Oリング

給水元栓 1 閉める 5 開ける

給湯栓 2 6

●2ハンドル混合水栓

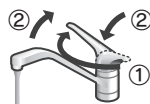
①給湯栓を開ける / 閉める



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいに戻す

②給湯栓を開ける / 閉める



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける / 閉める



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

1年に1回以上

ほこり

機器外面のほこりや汚れは、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。特に機器後面の給気部にたまったほこりをふきとってください。

油ストレーナの点検

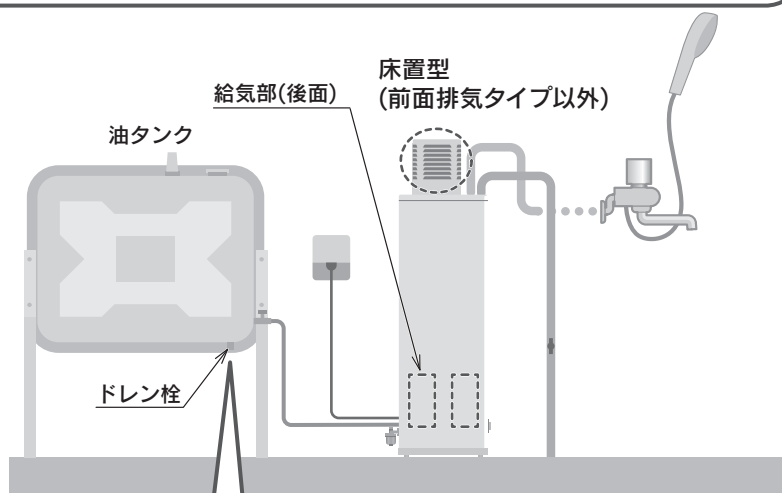
(EHI-4765DF・EHI-4765DKFは機器内部)

油ストレーナに水やゴミがたまることがあります。点検には分解作業が必要ですので、お買い求めの販売店に依頼してください。

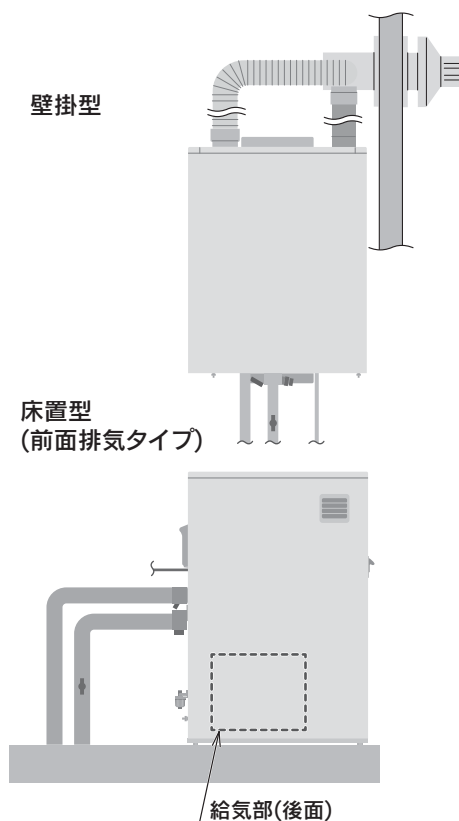
ゴム製送油管の点検・交換のめやす

(強制給排気タイプの場合 2ページ)

屋内に設置してゴム製送油管を使用している場合、ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があるときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂がなくても2～3年に一度は新しいものに交換することをおすすめします。交換しないと油漏れにつながり、火災の原因になります。



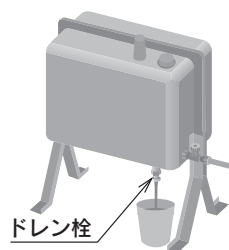
イラストは無煙突タイプです。



油タンク

油タンクの底に結露した水がたまります。ドレン栓を開けて抜きとってください。

(ドレン栓の形状はタンクによって異なります。)



定期点検

- 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
- 機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
- 定期点検はお買い求めの販売店にご相談ください。(定期点検は有料です。)

法定点検

- この機器は消費生活用製品安全法により点検期間に法定点検(有料)を受けていただくことが求められています。(製品の所有者などの責務：消安法第32条の14)
- この機器の設計標準使用期間10年の前後それぞれ1年間(製造後9年から11年)を法定点検時期と設定しています。ご登録いただいた所有者情報に基づき、法定点検期間の直前に弊社より点検通知を送付いたしますので、添付のはがき(所有者票)に必要な事項をご記入のうえ、必ず返送してください。
- 詳しくは「特定保守製品についての説明書」をご覧ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

故障ではない場合がありますので、修理を依頼する前にもう一度確認してください。

こんなときは		確認してください
シャワーやじゃ口	お湯も水も出ない	● 断水していませんか。 ● 給水元栓が全開になっていますか。 ● 配管が凍結していませんか。凍結が解消するまでお待ちください。 28ページ
	給湯栓を開けてもお湯が出ない	● 燃料切れしていませんか。給油してください。 17ページ ● 給湯栓をもう少し開けてください。じゃ口から出る水が少ないときは、点火しないことがあります。点火できる最少の流量は、毎分約2.5リットルです。 ● リモコンの運転スイッチが「入」になっていますか。
	お湯の出が悪い	● 水フィルタにごみなどがつまっています。掃除してください。 30ページ ● 給湯栓のフィルタにごみなどがつまっています。掃除してください。 ● サーモスタット付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの給湯温度を高くするとシャワーの勢が強くなります。
	お湯が出なくなった	● 燃料切れしていませんか。給油してください。 17ページ ● 給湯栓を絞りすぎると(毎分約2.5リットルより少ない場合)点火しないことがあります。 ● 安全装置の作動が考えられます。 35ページ リモコンにエラーコードを表示している場合は「エラーコード」に従って処置を行ってください。 36～38ページ ・ 対震自動消火装置の場合 「100」を表示します。 ・ 燃焼制御装置の場合 「111」・「121」・「130」・「510」のいずれかを表示します。 「130」を表示した場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。 ・ 異常過熱防止装置の場合 〈停電時自立型以外〉 「150」・「160」・「590」のいずれかを表示します。この場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。 〈停電時自立型〉 「150」・「160」・「590」のいずれかを表示します。この場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にした後、バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「切」にして電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
	停電後、復帰したのにお湯が出ない(停電時自立型以外の場合)	● 停電すると運転は停止し、リモコンの運転スイッチが「切」になります。停電復帰後は、リモコンの運転スイッチを「入」にして使用してください。
	給湯栓を開けてもすぐにお湯にならない	● 配管内に残っている水が出てくることがあります。お湯が出るまでしばらくお待ちください。
	お湯がぬるい(設定した温度にならない)	● リモコンの給湯温度はめやすです。配管の放熱により、設定温度よりも低くなることがあります。 ● サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、リモコンの給湯温度を確認してください。湯温安定のためリモコンの給湯温度は混合水栓の設定温度より約10℃高めに使用してください。 ● 1箇所の混合水栓のみお湯の温度がおかしいときは、混合水栓故障の可能性があります。
	お湯の温度が上下したり水になったりする お湯の量が増減する	● 次の場合が考えられます。 ・ お湯を出したり止めたりを繰り返したとき。 ・ 2箇所以上でお湯を使用したとき。 ・ 水道の圧力が変動したとき。
	低温のお湯が出ない	● 水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯栓をもう少し開けて水と混ぜて使用してください。 ● 太陽熱温水器と接続している場合は、太陽熱温水器のお湯が給水されるため、低温のお湯が出ないことがあります。
	高温のお湯が出ない	● 給湯温度の設定が低くなっていますか。
	給湯温度が変更できない	● 操作しているリモコンが優先になっていますか。優先を切換えてください。
	お湯が白く見える	● 水に溶けていた空気が機器内で加熱され、温度や水圧などの条件が重なったときに、細かい気泡となって出てくる自然現象です。ビールの泡のようなもので、体には無害です。
	出湯量が少ない	● ECOスイッチを「入」にしていると、ECO機能が作動し出湯量が減ることがあります。

故障かな？と思ったら

	こんなときは	確認してください
機 器	排気口から湯気が出る	● 排ガス中の水蒸気が、冷たい外気に触れて白く見えることがあります。異常ではありません。
	燃焼表示が消えてもしばらくの間機器から音がする	● 燃焼室内の排ガスを排出するため、送風機がしばらくの間動きます。
	過圧逃し弁からお湯(水)が出る	● 燃焼中は上昇した機器内の圧力を逃がすときにお湯が出ます。
	燃料を切らした後、給油しても火がつかない	● 「燃料切れをしたときは」に従って、送油経路の空気抜きを行ってください。 17ページ
	ドレン水出口配管から水が出る	● この機器は高効率型で機器内部で発生した凝縮水をドレン水出口配管から排出しています。(毎分最大約43cc)

リ モ コ ン	何も表示しない 運転スイッチが「入」にならない	● 停電していませんか。 〈停電時自立型以外〉 ● 電源プラグが差し込まれていますか。 ● その他の装置(電流ヒューズ)の作動が考えられます。 35ページ 電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。 〈停電時自立型〉 ● 給湯器の電源プラグが、バックアップ電源ユニットの給湯器電源出力コンセントに差し込まれていますか。 ● バックアップ電源ユニットの運転スイッチが「入」になっていますか。 ● その他の装置(電流ヒューズ)の作動が考えられます。 35ページ バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「切」にして電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
	表面が熱く感じる	● 使用中は表示画面が点灯しますので、熱く感じる場合があります。リモコンの運転スイッチを「切」にしても電子回路が動いているので熱く感じる場合があります。
	スイッチ操作ができない(※1)	● チャイルドロックが設定されていませんか。 リモコン取扱説明書参照
	表示画面が省エネモードにならない 表示画面のバックライトが暗い、または消灯している	● 「表示画面省エネモード」の設定を確認してください。 リモコン取扱説明書参照
	音声案内をしない、または小さくなった(※1)	● 「音声ガイド音量」の設定を確認してください。 リモコン取扱説明書参照 ● スピーカーに水がたまると音声小さくなることがあります。水をふきとってください。
	操作音がしない、または小さくなった	● 「操作音量」(※1)または「操作音」(※2)の設定を確認してください。 リモコン取扱説明書参照
	操作していないのに音が出る	● 他のリモコンで給湯温度を変更したときなど、操作していないリモコンからも音声やブザーでお知らせすることがあります。
	表示画面の色が変化する	● 表示画面を正面以外から見ると表示色に変化して見えることがあります。また表示内容などにより明るさにムラが生じることがあります。
	表示画面の切り替わりが遅い	● 気温が下がると表示の切り替わりが遅くなる場合があります。
	時計を表示しない	● 現在時刻を設定してください。 リモコン取扱説明書参照

※1 音声リモコンの場合 ※2 カンタンリモコンの場合

バ ッ ク ア ッ プ 電 源 ユ ニ ッ ト	停電時動作しない(給湯器)	● バックアップ電源ユニットの運転スイッチが「入」になっていますか。運転スイッチが「入」になっていないと、給湯器電源出力コンセントにAC100Vは出力されません。 ● バックアップ電源ユニットに接続しているリモコンで操作していますか。
	停電時動作しない	● バックアップ電源ユニットの外部電源出力に接続している機器の場合 ・ バックアップ電源ユニットの運転スイッチと外部電源出力スイッチが「入」になっていますか。どちらのスイッチも「入」になっていないと、外部電源出力コンセントにAC100Vは出力されません。 ● 給湯器・バックアップ電源ユニットの外部電源出力に接続している機器の場合 ・ バッテリー残量が少なくなっていることが考えられます。 ・ 充電時間は充分経過しましたか。また、バックアップ電源ユニットの電源プラグがコンセント(商用電源)に差し込まれていますか。停電中は充電できません。

安全装置

安全装置	はたらき
対震自動消火装置	地震や強い振動、衝撃を受けたときに運転を停止します。
燃焼制御装置	バーナーが点火しないとき・使用中に炎が消えたとき・異常な燃焼をしたときに運転を停止します。
停電安全装置	使用中に停電したり、電源プラグが抜けたときに運転を停止します。

その他の装置

その他の装置	はたらき
異常過熱防止装置	熱交換器が異常に過熱したときに作動して運転を停止します。
温度ヒューズ	
凍結予防装置	機器内の給水経路が凍結しないように、凍結予防ヒータが作動して凍結を予防します。凍結のおそれがなくなると、凍結予防ヒータは停止します。
電流ヒューズ	万一内部配線のショートや部品の故障などで過電流が流れたときに、ヒューズが切れて運転を停止します。
送風機ヒューズ	
電磁ポンプヒューズ (EHI-4765DKFのみ)	
過圧逃し弁	熱交換器の圧力が異常に上昇したときに作動して圧力を逃がします。
中和器つまり検知装置	中和器や配管がつまり、ドレン水の排水ができなくなると、エラーコードでお知らせします。
圧力スイッチ (EHI-4765DFのみ)	中和器内に水がない、または少ないときにエラーコードでお知らせします。
ドレン水トラップ 異常検知装置 (EHI-4765DKFのみ)	トラップケース内に水がない、または少ないときにエラーコードでお知らせします。
油切れ予告装置 (別売部品)	リモコンに灯油の残量を表示し(※)少なくなると、エラーコードでお知らせします。

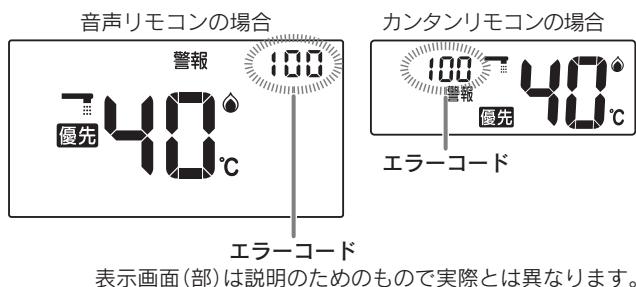
※ 灯油の残量を表示しないタイプもあります。 **17ページ**

故障かな？と思ったら

エラーコード

異常・故障の場合はリモコンにエラーコードを表示します。

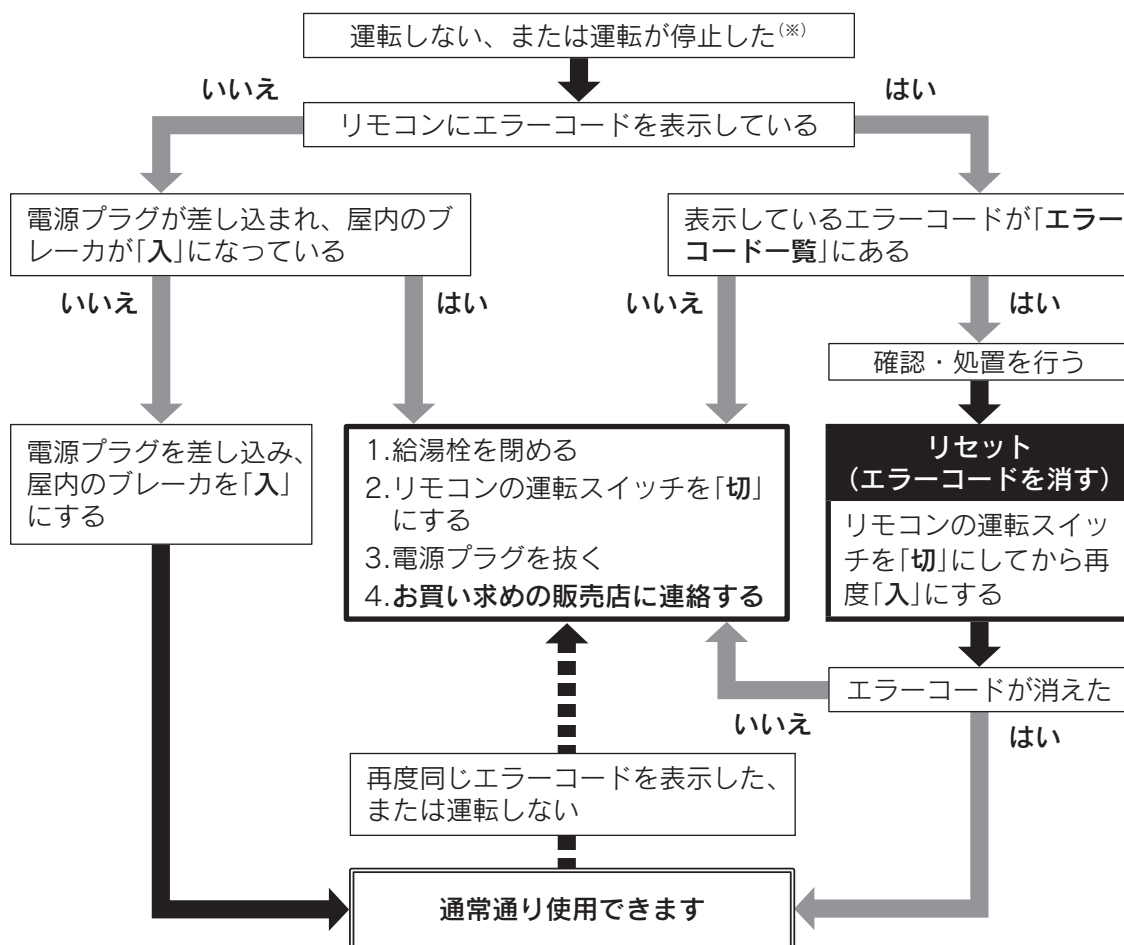
エラーコード表示位置



リモコンにエラーコードを表示したとき/機器が運転しないとき

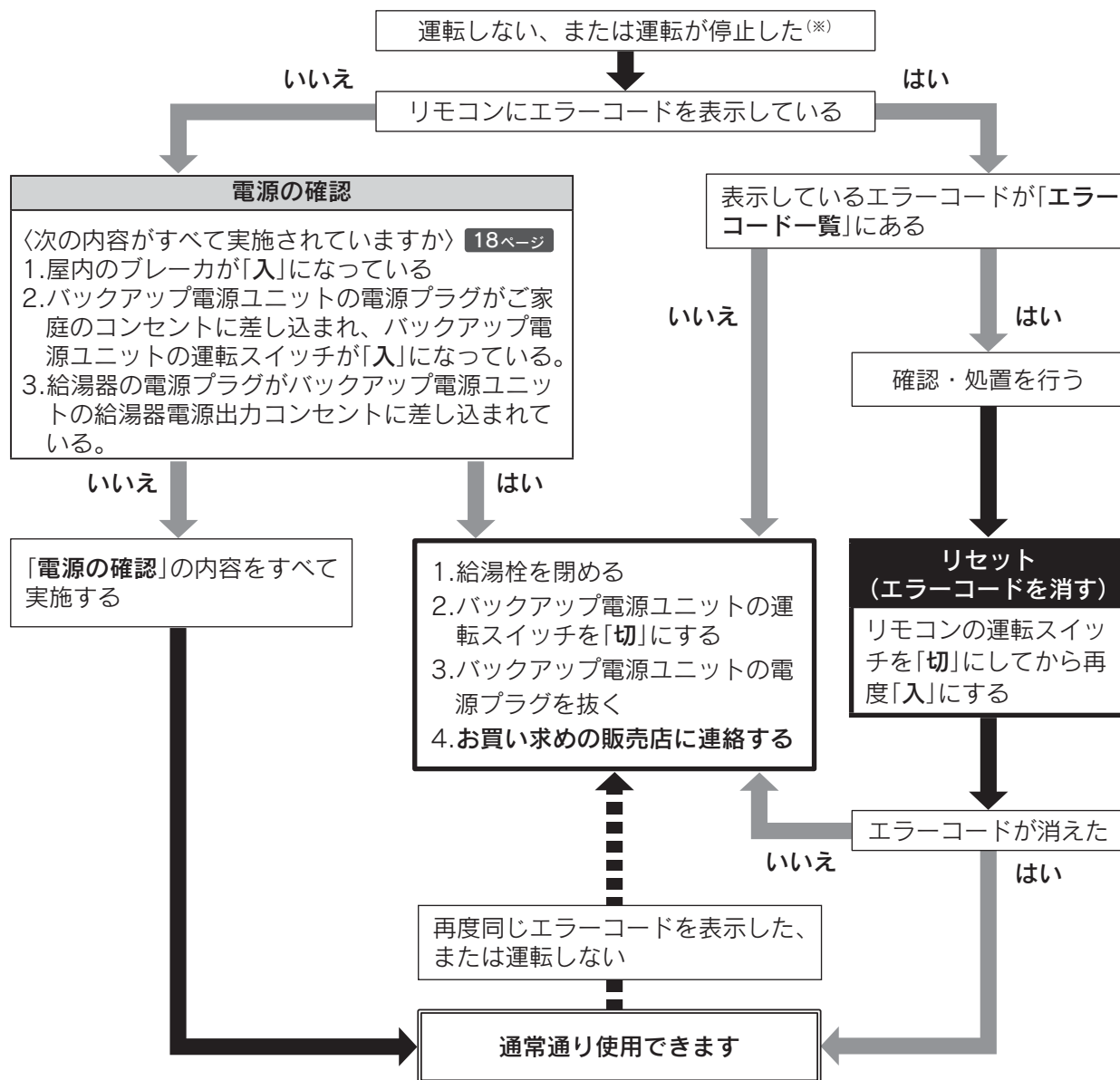
●以下の処置を行ってください。

停電時自立型以外の場合



※運転を停止しないエラーコードもあります。

停電時自立型の場合



※運転を停止しないエラーコードもあります。

故障かな？と思ったら

エラーコード一覧

エラーコード	説 明	確 認・処 置
100	地震や強い振動・衝撃があった	機器および周囲に異常がないことを確認してください。
550・611 721	部品の異常を検知した	リモコンの運転スイッチを「切」にしてから再度「入」にしてください。(リセット)
111	着火できない	燃料切れをしていませんか。油タンクに灯油があることを確認してください。 油タンクの送油バルブは充分開いていますか。 (燃料切れをしていた場合は、給油後リセットを2、3回行ってください。約8回リセットを繰り返すと、お客様によるリセットができなくなりますので注意してください。 17ページ)
121 510	燃焼中に火が消えた	
260 (EHI-4765DF のみ)	圧力スイッチが作動した	リモコンの運転スイッチを「切」にして中和器への呼び水をしてください。 27ページ
301	外気温を検知できない (警告表示)	機器の使用はできますが、凍結予防装置が作動しません。 お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。
480	油切れ予告装置の異常を検知した (警告表示) (別売のOC-5を取付時)	油切れ予告装置の故障や断線が考えられます。 使用できますが、お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。 別売の「油切れ予告装置OC-5」を取付けていないのにエラーコード「480」が表示されたときは設定を解除してください。 39ページ
651(※1)	水比例弁の異常を検知した (警告表示)	機器に給水した後、電源プラグを差し直してください。
661(※1)	混合弁の異常を検知した	
740 750 760	通信異常	電源プラグを差し直してください。 (リセットは必要ありません。)
830	灯油の残量が少ない (警告表示) (別売のOC-5またはOC-31) を取付時	油タンクに灯油を入れてください。
888	設計標準使用期間経過 (警告表示)	お早めに法定点検を受けてください。 (法定点検の詳細は別紙の「特定保守製品についての説明書」を参照してください。) 「888」表示はリモコンの運転スイッチを10秒間に5回以上押すことで一時的に消すことができます。(点検を受けないと1年後に再表示します。) 〈EHIF-4765DSN・EHIF-4765DSN-2の場合〉 法定点検を受けた後は、3年後に再表示します。 〈EHIF-4765DSN・EHIF-4765DSN-2以外の場合〉 法定点検を受けた後は再表示しません。 連 絡 先：株式会社長府製作所  電話 0120-921-971 (通話料無料) 受付時間：(平日) 9：00～18：00 ※年末年始を除く
920	中和器寿命(警告表示)	しばらくは使用できますが中和器の交換が必要です。 お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。
EE	バックアップ電源ユニット の異常を検知した	1. バックアップ電源ユニットの電源プラグをコンセントから抜くと、バックアップ電源ユニットに接続しているリモコンに3桁の数字でエラーコードを表示します。 2. 表示したエラーコードを確認後、バックアップ電源ユニットの電源プラグをコンセントに差し込んでください。 3. バックアップ電源ユニットに付属の取扱説明書の「エラーコード一覧」に従って確認・処置を行ってください。

※1 エラーコード「651」・「661」は機器に通水する前に運転スイッチを押して「入」にすると表示されることがあります。
機器内の水を抜いた後は、機器に給水してからリセットしてください。

■警告表示について

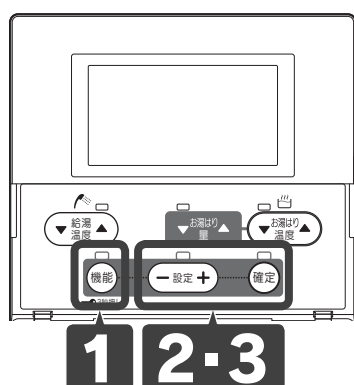
エラーコードを表示していても機器は使用できますが、すみやかに確認・処置を行ってください。

運転中に誤作動したときは

- 停電時自立型以外の場合：万一運転中に雷、自動車無線などで誤作動したり、動かなくなったときは電源プラグをコンセントから抜き、数秒後に再度差し込み、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。
- 停電時自立型の場合：万一運転中に雷、自動車無線などで誤作動したり、動かなくなったときはバックアップ電源ユニットの運転スイッチを「切」にし、数秒後に再度「入」にした後、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。

油切れ予告装置異常「480」が表示されたときの解除方法

音声リモコンの場合



イラストはCMR-2706Vです。

1 機能 を押す

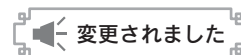
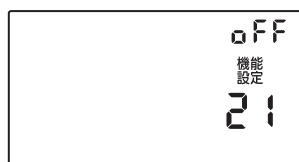
2 設定+ で機能設定「21」を選び 確定 を押す

3 設定+ で「oFF」を選び 確定 を押す

●1回押すと2cm単位、押し続けると10cm単位で変わります。

設定内容

oFF・0・2・4～116・118・120

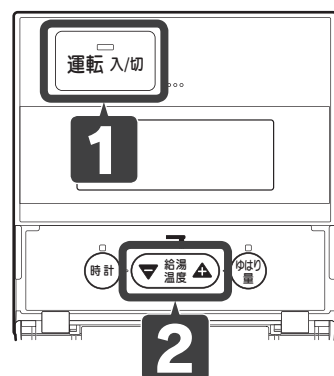


お知らせ

- 設定を途中でやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

ふたを閉じると通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

カンタンリモコンの場合



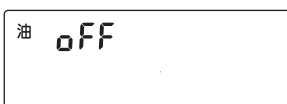
1 運転入/切 と 油切れ を同時に5秒間押す

2 設定+ で「oFF」を選び 運転入/切 を押す

●1回押すと2cm単位、押し続けると10cm単位で変わります。

設定内容

oFF・0・2・4～116・118・120



時計スイッチを押すと通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

- 部品は必ず当社純正部品を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

中和器について

- 中和器の寿命が近づくとエラーコード「920」を表示し、中和器の交換時期をお知らせします。 [38ページ](#)
- 中和器の寿命が過ぎるとエラーコード「930」を表示し、運転を停止します。
この場合は中和器を交換しないと運転できません。お買い求めの販売店に交換を依頼してください。
同時に機器の点検をおすすめします。

強制給排気タイプの場合 [2ページ](#)

- 給排気筒のOリングは、「4種D(フッ素) (JIS B2401) P70」を使用しています。

仕 様

型名	EHIF-4765DSN		EHIF-4765DSN-2
型式の呼び	EHIF-476		
種類	圧力噴霧式・水道直結式・瞬間形・屋外用開放形		
点火方式	高圧放電式		
最低作動水量	2.5±0.5L/min		
使用燃料	灯油 (JIS1号灯油)		
燃料消費量	48.9kW(4.75L/h)		
連続給湯効率	95.0%		
連続給湯出力	46.5kW(40,000kcal/h)		
停電時給湯可能量	—		720L以上(給水温度15℃、出湯温度40℃)
熱交換器容量	1.7L(主熱交：1.0L 補助熱交：0.7L)		
使用圧力(最高使用圧力)	1.0MPa(10kgf/cm ²)		
伝熱面積	0.71m ² (主熱交：0.33m ² 補助熱交：0.38m ²)		
外形寸法	高さ895mm 幅595mm 奥行248mm		
質量(満水時)	41kg(43kg)		
電源電圧及び周波数	100V 50/60Hz		
定格消費電力	点火時：115/110W 燃焼時：95/90W		
待機時消費電力	音声リモコンの場合：2.1W カンタンリモコンの場合：2.0W		2.1W
排気温度	260℃以下		
騒音レベル	45dB(正面)		
電流ヒューズ	10A		
送風機ヒューズ	3A		
温度ヒューズ	184℃		
安全装置	対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置		
その他の装置	異常過熱防止装置・温度ヒューズ・凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ 過圧逃し弁・中和器つまり検知装置・油切れ予告装置(別売部品)		
付属品	給水口保温材・出湯口保温材・送油管・転倒防止金具・取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋		
	—		バックアップ電源ユニット(別梱包)
区分名(省エネ法)	A		
エネルギー消費効率	95.0%		

給湯量			
給湯温度	給水温度		
	5℃(冬期)	15℃(春・秋期)	25℃(夏期)
37℃	20L/分	30L/分	32L/分
45℃	16L/分	22L/分	
55℃	13L/分	16L/分	22L/分
65℃	11L/分	13L/分	16L/分

※機器の最大給湯量は32L/分、最少給水量は2.5L/分です。
※給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により変動します。

ご使用の前に

便利な使いかた

必要なときに

仕 様

型名	EHI-4765DS		EHI-4765DF	EHI-4765DKF
型式の呼び	EHI-476			
種類	圧力噴霧式・水道直結式・瞬間形			
	屋外用開放形 屋内外用半密閉式強制排気形		屋内用密閉式強制給排気形	
点火方式	高压放電式			
最低作動水量	2.5±0.5L/min			
使用燃料	灯油(JIS1号灯油)			
燃料消費量	48.9kW(4.75L/h)			
連続給湯効率	95.0%			
連続給湯出力	46.5kW(40,000kcal/h)			
熱交換器容量	1.7L(主熱交：1.0L 補助熱交：0.7L)			1.5L(主熱交：1.0L 補助熱交：0.5L)
使用圧力(最高使用圧力)	1.0MPa(10kgf/cm ²)			
伝熱面積	0.71m ² (主熱交：0.33m ² 補助熱交：0.38m ²)			0.65m ² (主熱交：0.33m ² 補助熱交：0.32m ²)
外形寸法	高さ910mm 幅 300mm 奥行591mm	高さ980mm 幅 300mm 奥行591mm	高さ735mm 幅 540mm 奥行250mm	
質量(満水時)	43.5kg(45kg)	46kg(48kg)	36kg(38kg)	
電源電圧及び周波数	100V 50/60Hz			
定格消費電力	点火時：115/110W 燃焼時： 95/ 90W			点火時：110/110W 燃焼時：105/105W
待機時消費電力	音声リモコンの場合：2.3W カンタンリモコンの場合：2.0W			
排気筒の呼び径	100	—		
給排気筒の型式の呼び	—	FF-70-092	FF-70-062 または FF-70-082 または FF-70-062L または FF-70-082R	
給排気筒の呼び径	—	D70		
給排気筒の壁貫通部の孔径	—	120mm		
排気温度	260℃以下			
騒音レベル	45dB	45dB(室内・正面)		46dB(室内・正面)
電流ヒューズ	10A			
送風機ヒューズ	3A			
温度ヒューズ	184℃	133℃・184℃		184℃
安全装置	対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置			
その他の装置	異常過熱防止装置・温度ヒューズ・凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ 過圧逃し弁・中和器つまり検知装置・油切れ予告装置(別売部品)			
	—	圧カススイッチ		電磁ポンプヒューズ ドレン水トラップ異常検知装置
付属品	給水口保温材・出湯口保温材・取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋			
	転倒防止金具			—
	ビニルホース(金具付)・送油管 パッキン	ゴム製送油管・排水用ホッパー・タッピンねじ(リモコン取付用) ビニルホース(金具付)・給排気筒一式(別梱包)		
		送油管接続パイプ・ ビニルホース(ゴムキャップ付) ビニルバック・抜け防止金具		ドレン水ホース・木ねじ リモコンコード
区分名(省エネ法)	A			
エネルギー消費効率	95.0%			

給湯量			
給湯温度	給水温度		
	5℃ (冬期)	15℃ (春・秋期)	25℃ (夏期)
37℃	20L/分	30L/分	32L/分
45℃	16L/分	22L/分	
55℃	13L/分	16L/分	22L/分
65℃	11L/分	13L/分	16L/分

※機器の最大給湯量は壁掛型が20L/分、据置型が32L/分、最少給水量は2.5L/分です。
※給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により変動します。

据付け

据付工事は販売店に依頼する

- 据付けや移動工事はお買い求めの販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

- 据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。
工事説明書の「安全のため必ずお守りください(特に注意していただきたいこと)」をお読みになり、お買い求めの販売店または据付業者とよくご相談ください。
また、「標準据付例」については工事説明書を参照してください。

騒音防止について

- 設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。
騒音公害とならないよう充分配慮して設置場所を選定してください。

転居または機器を移設するとき

- 転居するときはお買い求めの販売店にご相談ください。
- 移設はお買い求めの販売店に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付け後の確認

- 据付けが終わりましたら、工事説明書の「安全のため必ずお守りください(特に注意していただきたいこと)」をお読みになり、工事説明書に記載されている通りに据付けられていることをもう一度確認してください。

試運転

試運転はお買い求めの販売店または据付業者と一緒に必ず行ってください。

運転準備

準備内容(確認事項)		チェック
共通	1. 油タンクに灯油が入っており、送油経路の空気抜きができていますか。	
	2. 油タンクや送油管の接続部から油漏れはありませんか。	
	3. 送油管が逆U字型になっていませんか。	
	4. 給水元栓を開け、給湯栓を開けると水が出ますか。	
	5. 機器や配管から水漏れはありませんか。	
停電以外の場合	6. リモコンは確実に接続されていますか。	
	7. 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。	
停電時自立型の場合	6. 給湯器通信線は、バックアップ電源ユニットの給湯器通信線接続コネクタと給湯器のリモコン端子台に接続されていますか。	
	7. 停電時に操作するリモコンのリモコンコードは、バックアップ電源ユニットのリモコンケーブル接続端子台に接続されていますか。	
	8. 残りのリモコンのリモコンコードは、給湯器のリモコン端子台に接続されていますか。	
	9. 給湯器の電源プラグは、バックアップ電源ユニットの給湯器電源出力コンセントに差し込まれていますか。	
	10. バックアップ電源ユニットの電源プラグは、コンセントに差し込まれていますか。	

試運転

- バックアップ電源ユニットの試運転はバックアップ電源ユニット付属の取扱説明書の「据付け」の「試運転」に従って行ってください。
- 試運転時は内部の防錆油が燃える(気化する)ため、煙や臭いが出ることがありますが、しばらく燃焼すると防錆油が燃える煙や臭いは出なくなります。
- リモコンの表示画面にエラーコードが表示されてバーナーが停止したときは、配線図の「故障早見表」を参照して確認・処置を行ってください。 **36～39ページ**
- バックアップ電源ユニットの場合は、バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「入」にします。

1. 運転開始

リモコンの運転スイッチを「入」にします。
給湯栓を開けてください。

2. 初期運転時の異常現象

運転開始時に電磁ポンプから「ピーピー」という音が出ますが、しばらくすると静かになり燃焼を始めます。

3. 正常運転のめやす

給湯温度の調節ができること、排気口・排気筒・拡散排気筒・給排気筒からススや煙が出ていないこと、異常な音がしていないことを確認してください。
燃焼しないときは「燃料切れをしたときは」に従って、送油経路の空気抜きを行ってください。 **17ページ**

4. 停止

給湯栓を閉めるとバーナーが停止して、燃焼表示が消灯します。
リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

長府石油瞬間給湯器(直圧)保証書(販売店様控)

型 名	EHIF-4765DSN EHI-4765DS・EHI-4765DF・EHI-4765DKF EHIF-4765DSN-2		
★製造番号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販 売 店	住所・店名 電話 ()
★お 客 様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

-販売店様へお願い-

- (1)保証書(販売店様控)及び次のページの保証書(お客様控)の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、保証書(販売店様控)は切り取り線より切り取って保管し、次のページの保証書(お客様控)は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。
- (2)保証書(販売店様控)に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

長府石油瞬間給湯器(直圧)保証書(お客様控)

本書は当製品に故障が発生した場合、お買い上げ日より表記期間中、本書記載内容に従って無料修理をお約束するものです。修理を依頼される場合は、お買い求めの販売店に必ず本書をご提示ください。

型名	EHIF-4765DSN EHI-4765DS・EHI-4765DF・EHI-4765DKF EHIF-4765DSN-2		
★製造番号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販売店	住所・店名 電話 ()
★お客様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当製品を無料で修理致します。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い求めの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、裏表紙記載のフリーダイヤルへご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書の提示がない場合、または必要事項の記載がない場合、字句を書き換えられた場合は有料修理になります。

●次の場合は保証期間内でも有料修理になります。

- (1) 住宅用途以外で使用情况の不具合
- (2) 使用者が適切な使用、維持管理等を行わなかったことに起因する不具合
- (3) 一般家庭用以外に使用したことに起因する不具合
- (4) 専門業者以外による修理、改造等に起因する不具合
- (5) 弊社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等に起因する不具合
- (6) 建築躯体の変形等、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
- (7) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
- (8) 動物や昆虫等の行為、及び植物の侵入等に起因する不具合
- (9) 火災・爆発・凍結等の事故、台風・落雷・地震・噴火・洪水・津波等の天変地異、または戦争・暴動等の破壊行為による不具合
- (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
- (11) 給水・給湯・ふろ・暖房配管等の錆や異物流入に起因する不具合
- (12) 地下水・井戸水・温泉水等を給水したことに起因する不具合
- (13) 公害による不具合
- (14) 電気・水・燃料等の供給トラブルに起因する不具合
- (15) 指定規格以外の電気・燃料・熱媒等を使用したことに起因する不具合

修理メモ

●お客様へ

- この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または裏表紙記載のフリーダイヤルにお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 長府製作所 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1 ☎(083)248-1111

アフターサービス

修理を依頼するとき

- 「故障かな？と思ったら」[33～39ページ](#)を確認していただき、直らないときは保証書(前ページ)に記載の
お買い求めの販売店にご連絡ください。

- 修理を依頼するときは、お買い上げ日と右の内容をお知らせください。
- 修理料金は①技術料+②部品代+③出張料などで構成されています。
 - ①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。
 - ②修理に使用した部品代金です。
 - ③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

品 名	石油瞬間給湯器(直圧)
型 名	機器前パネルの銘板に記載されています。 2ページ
故 障 の 状 況	できるだけ詳しく
お名前・ご住所・電話番号・訪問ご希望日	

保証・修理について

- この機器には「保証書」がついています。正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定に従って修理いたします。お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 家庭用の給湯・ふろ以外の特殊な使用方法での不具合発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 凍結や析出物(炭酸カルシウムなど)による故障の場合は、保証期間内でも有料になります。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後11年です。
性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

一般のお客様から
のお問い合わせは、
フリーダイヤルへ

 **0120-925-339**
携帯電話からは **0570-666-339**
(通話料金がかかります)

お客様から取得いたしました個人情報
は、お客様へのお問い合わせ対応を
目的として利用し、適切に管理します。
修理業務等を委託する場合や正当な理
由がある場合を除き、第三者に開示・
提供いたしません。

※電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

修理に関する
お問い合わせ

24時間365日受付

商品に関する
お問い合わせ

平日 8:00～19:00
土日祝 8:00～17:00

愛情点検



こんな症状は
ありませんか

- 水漏れや油漏れがある。
- 煙が出たり、強い臭いがする。
- 運転中にこげくさい臭いがする。
- 異常な音や振動がする。
- その他の異常や故障がある。



ご使用中止

故障や事故防止のため、運転を停止して
電源プラグを抜き、お買い求めの販売店
に点検・修理を依頼してください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所



本社 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1